

事業計画・工程表の作成

(社会資本整備事業の見える化)

「社会資本整備事業の見える化」として社会資本整備の進捗状況を分かりやすく示す、見通しを示す、情報を共有することができるように道路、ダム、港湾、空港、公園、営繕、防災、その他の8分野について事業内容を示した事業計画および目標、進捗状況、見通し等を記載した工程表を公表することとしました。本日、開発建設部のホームページに掲載します。

今後は、年度毎に達成状況を確認し目標を設定するとともに、進捗管理を徹底し、工期の短縮に努めてまいります。

開発建設部のホームページからは、以下のURLから閲覧できます。

<http://www.dc.ogb.go.jp/kaiken/11229/index.html>

問い合わせ先

内閣府沖縄総合事務局開発建設部 那覇市おもろまち2丁目1番1号
那覇第2地方合同庁舎2号館

< 全 体 >	企画調整官	あたらし 新	かず まさ 一 真	(直通 866-1901)
	建設行政課	みや ぎ 宮 城	かず まさ 一 正	(直通 866-1908)
< ① 道 路 >	道路建設課長	き しゃ 喜 舍	まさ ひで 正 秀	(直通 866-1914)
	道路管理課長	ざき ま 崎 間	ひとし 斉	(直通 866-1915)
< ② ダ ム >	河川課長	すず 鈴	けい すけ 啓 介	(直通 866-1911)
	流域調整課長	あ に 安 仁	や つとむ 屋 勉	(直通 866-1913)
< ③ 港 湾 >	港湾計画課長	たか の 高 野	あきら 明	(直通 866-1906)
< ④ 空 港 >	空港整備課長	ふじ さわ 藤 澤	とも はる 友 晴	(直通 866-1921)
< ⑤ 公 園 >	建設産業・地方整備課長	の はら 野 原	まもる 葵	(直通 866-1910)
< ⑥ 営 繕 >	営繕課長	こ いずみ 小 泉	ひろし 洋	(直通 866-1916)
< ⑦ 防災対策 >	防災課長	とよ だ のり 豊 田 紀	あき 明	(直通 866-1903)
< ⑧ その他 >	管理課長	やま よし 桑 山 佳	ひさ 久	(直通 866-1901)
	建設行政課	かみ なが 神 長	のり つね 恒 範	(直通 866-1908)

沖縄の振興・発展のためには、沖縄の優位性を活かした自立型経済を構築していくことが重要であり、これを支える社会資本整備を着実に進めていく必要があります。

今年度は、那覇空港滑走路増設事業を本格的に進め、那覇北道路・若狭港町線を新規事業に着手するなど道路、港湾、空港、公園事業などの様々な事業を展開していきます。

さて、沖縄の振興・発展の戦略や道筋等を立てるには、下部構造の社会資本整備と合わせて上部構造の社会・経済活動等が上手に連携していく必要があります。

例えば、沖縄県が目標に掲げている入域観光客 1 千万人の時代を迎えるにあたり観光施設などの誘致において空港、港湾、道路などの社会資本整備と連携することが必要不可欠となることから、事業展開等の情報共有を十分に図ることが重要であります。また、社会資本整備は、社会の基盤づくりとして常に広く県民に知っていただけるよう努めなければなりません。

このため、「社会資本整備事業の見える化」として社会資本整備の進捗状況を分かりやすく示す、見通しを示す、情報を共有することができるよう道路、ダム、港湾、空港、公園、営繕、防災、その他の 8 分野について事業内容を示した事業計画および目標、進捗状況、見通し等を記載した工程表を公表することとしました。本日、開発建設部のホームページに掲載します。

今後は、年度毎に達成状況を確認し目標を設定するとともに、進捗管理を徹底し、工期の短縮に努めてまいります。

開発建設部のホームページからは、以下の URL から閲覧できます。

<http://www.dc.ogb.go.jp/kaiken/11229/index.html>

社会資本整備事業の見える化

- 開発建設部が進めている社会資本整備事業等の見える化(わかりやすく示す、見通しを示す、情報を共有する)のため、事業計画・工程表を作成・公表
- 事業計画において、事業内容等を示し、工程表において、目標、進捗状況、見通し等を記載
(平成26年度予算を踏まえたH26.5末現在のものであり、今後、状況の変化等に応じて随時更新する予定)
- 事業計画・工程表は、年度毎に達成状況等を確認し、目標を設定してローリング
- 対象は、道路、ダム、港湾、空港、公園、営繕、防災、その他の8つの分野
- 今後、進捗管理を徹底しながら、できるだけ工期の短縮化に努力

事業計画・工程表の構成

◆事業計画

- ・概要、H26年度事業内容、位置図、ポンチ図、写真等を記載

◆工程表

○H25年度の成果等

- ・H25年度における事業等の進捗等の成果を記載
(△△供用済、▲▲促進、□□実施、など)

○H26年度の成果目標等

- ・H26年度における事業等の進捗等の目標を記載
(△△供用予定、▽▽新規事業化、▲▲促進、□□実施、など)

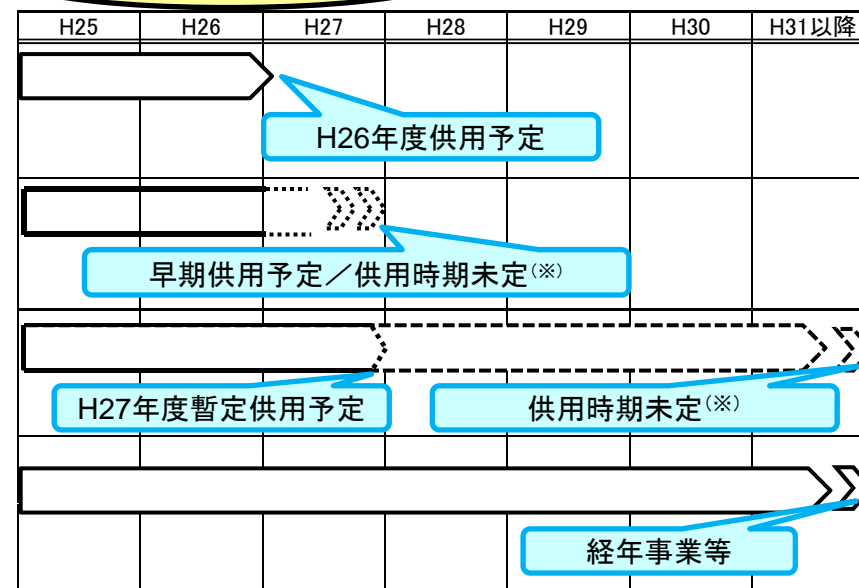
○事業等の見通し

- ・供用目標等をバーチャートで表示(H25年度～H31年度以降)
(凡例は右図参照)

○備考

- ・これまでの成果、全体の目標、その他の参考情報を記載

凡例等



(※) 供用時期未定事業等については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定

変更要因

- 事業等の見通しは、標準的な工程を想定した場合の目安。今後の予算状況や施工上の条件変化等により変更の可能性がある。
(例) 用地取得時における土地所有者調査・関係者調整の長期化、地元調整や環境配慮等のための工程調整、関係機関・隣接事業との調整、など

社会資本整備事業の見える化

工程表の凡例

H25年度における事業等の進捗等の成果を記載

H26年度における事業等の進捗等の目標を記載

供用目標等をバーチャートで表示(H25年度～H31年度)

これまでの成果、全体の目標、その他の参考情報を記載

区分	事業名	H25年度の成果等	H26年度の成果目標等	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31以降	備考
那覇空港自動車道	一般国道506号 豊見城東道路 L=6.2km	<ul style="list-style-type: none"> ・豊見城IC～南風原南IC L=3.5km(4/4) 平成26年3月31日 開通済 ・(東風平地区)舗装工、設備工、付帯工 ・豊見城高架橋上部工 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊見城・名嘉地IC～豊見城IC L=2.7km(4/4)平成26年度 開通予定 ・(上田地区)舗装工、付帯工 	(事業中)工事推進		H26年度供用予定					<ul style="list-style-type: none"> ・豊見城IC～南風原南IC L=3.5km(2/4) H15.4.26開通済 ・豊見城・名嘉地IC～豊見城IC L=2.7km(2/4) H20.3.22開通済 ・豊見城IC～南風原南IC L=3.5km(4/4) H26.3.31開通済
交通安全事業	一般国道329号奥間南交差点改良	<ul style="list-style-type: none"> ・設計 	<ul style="list-style-type: none"> ・設計 ・用地買収 	(事業中)設計・用地・工事の推進		早期供用予定／供用時期未定					早期完成は目指すものの、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定。
一般二次改築	一般国道58号恩納バイパス L=5.1km (恩納村瀬良垣～恩納村南恩納)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境調査 ・用地買収(南恩納地区) ・1号橋下部工 ・8号橋梁上部工 ・恩納地区改良工 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境調査 ・1号橋梁上部工 ・恩納地区改良工 	設計・用地・工事の推進 (逐次開通)		H27年度暫定供用予定		供用時期未定			<ul style="list-style-type: none"> ・恩納村字瀬良垣～恩納村字南恩納 L=5.1km (2/4) H23.4.29開通済 ・平成27年度 交差点改良開通予定
維持修繕事業	耐震補強	補強対策0橋	補強対策2橋	補強設計、工事		経年事業等					<ul style="list-style-type: none"> ・H8仕様書対応対象橋梁94橋・対策済み74橋(25年度末)

那霸空港自動車道

と み ぐすくひがし
豊見城東道路

1. 概 要

おきなわ 沖縄自動車道、南風原道路と一体となって本島北部及び中南部から那覇空港
はえぼる 間の定時性、高速性を確保するとともに都市部の交通混雑の緩和と沿道環境の
なは 改善を図ることを目的とする道路。

○事業区間：^{おきなわ}沖縄県^{とみぐすく}豊見城市^な名^か嘉^ち地
^{しまじり}島尻郡^{はえばるちよう}南風原町^{やまかわ}山川

○延長： 6. 2 k m

○H 2 6 当初： 6. 0 億円



2. 平成26年度事業内容

○^{とみぐすく}豊見城・^{な か ち}名嘉地 IC～^{とみぐすく}豊見城 IC（延長2.7km）

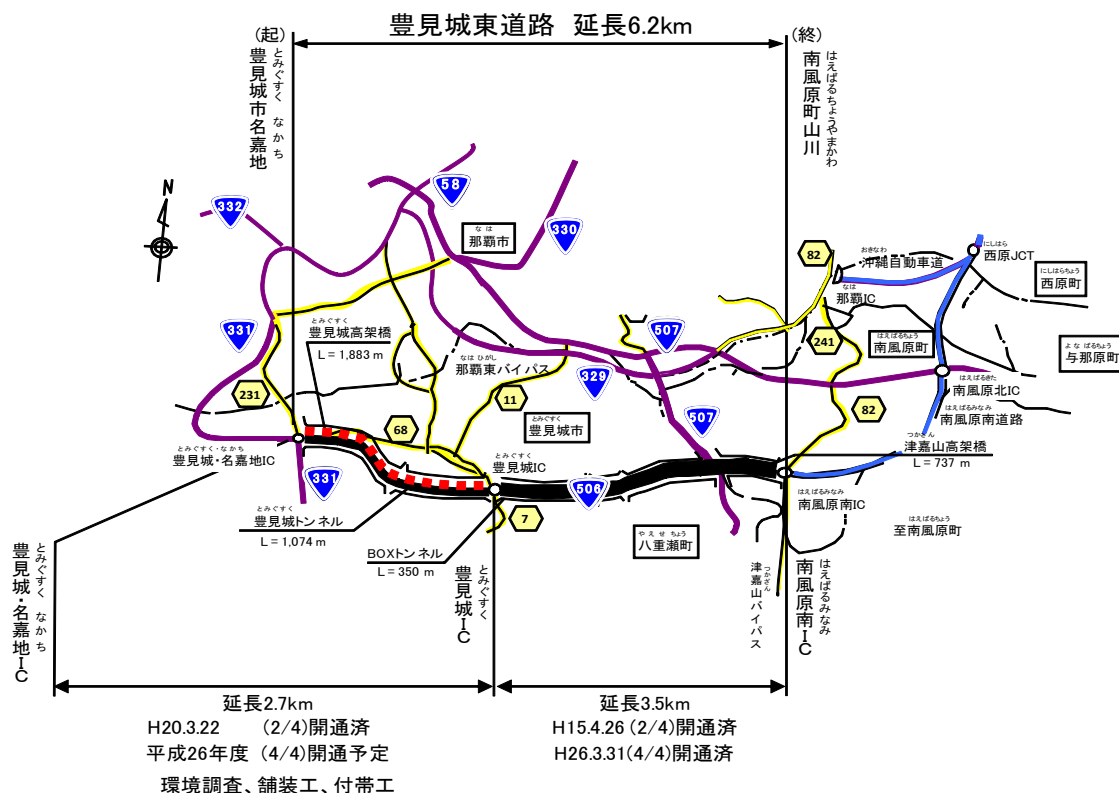
- ・平成19年度暫定2車線開通済
- ・環境調査、舗装工、付帯工
- ・平成26年度完成4車線開通予定

○豊見城 I C ~ 南風原南 I C (延長3.5km)

- ・平成26年3月31日完成4車線開通済

(全体用地進捗率：約99%)

[平成26年3月末現在]



な は
那覇空港自動車道
一般国道 506号 お ろ く 小禄道路

1. 概 要

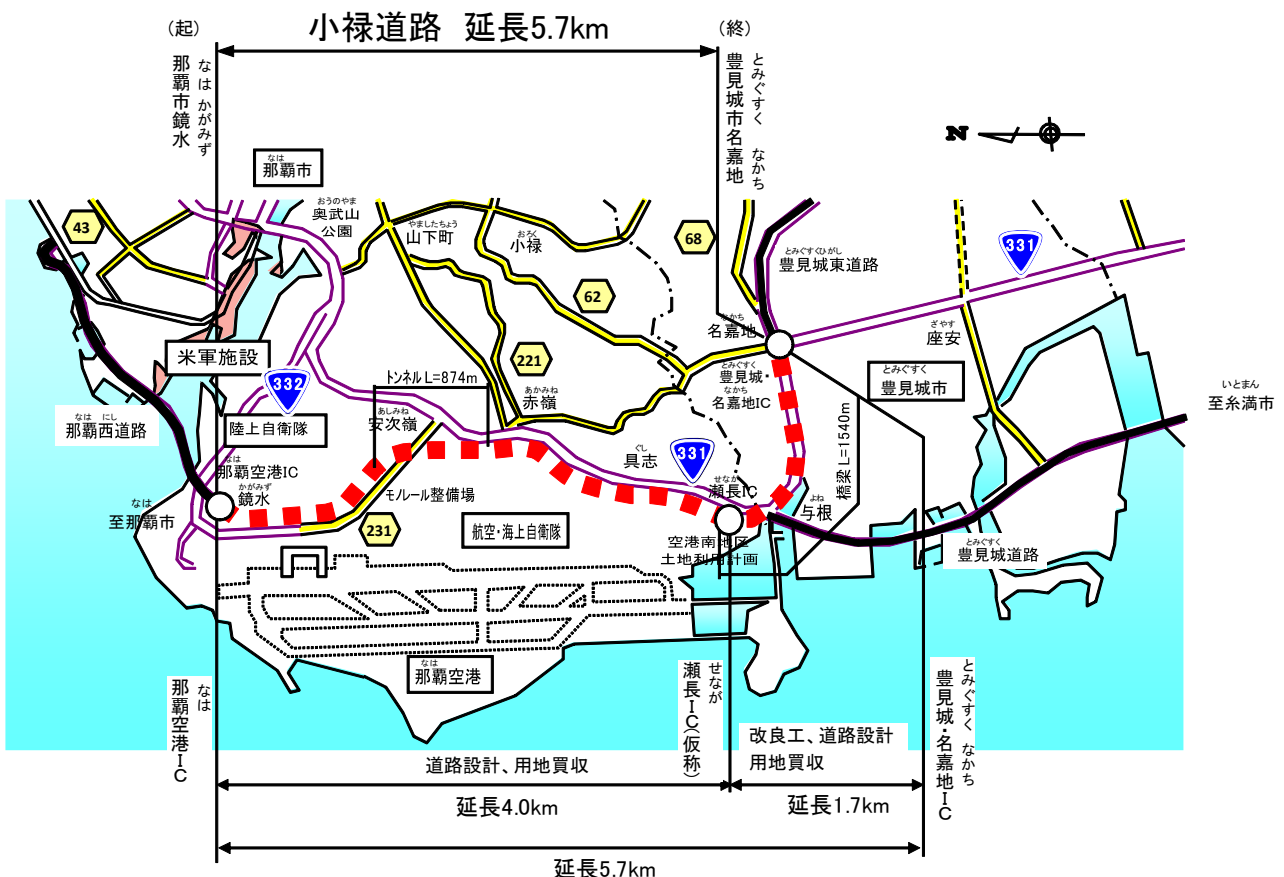
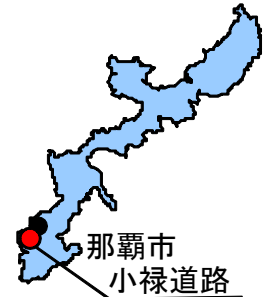
おきなわ 沖縄自動車道 はえばる 南風原道路 とみぐすくひがし 豊見城 東道路と一体となって本島北部及び中南部から那覇空港間の定時性、高速性を確保するとともに都市部の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図ることを目的とする道路。

- 事業区間：おきなわ 那覇市鏡水～おろく 豊見城市名嘉地
- 延長：5.7 km
- H26当初：17.0 億円

2. 平成26年度事業内容

- 那覇市鏡水～豊見城市名嘉地（延長5.7km）
 - ・改良工、道路設計、用地買収

（全体用地進捗率：1%）
[平成26年3月末現在]



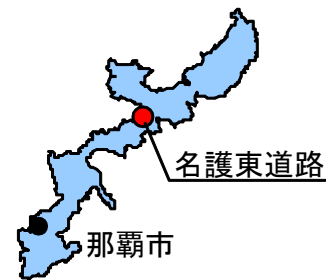
なごひがし
名護東道路

一般国道58号 名護東道路

1. 概要

本道路は、高規格幹線道路である沖縄自動車道と、地方拠点都市地域にも指定された北部広域市町村圏（12市町村）の中心都市である名護市を結び、那覇空港や那覇港などの広域交流拠点とをネットワーク化する事により、北部地域の活性化を支援するとともに、名護市街地の渋滞緩和を図ることを目的とする道路。

- 事業区間：沖縄県名護市伊差川～名護市数久田
- 延長：6.8km
- H26当初：26.8億円

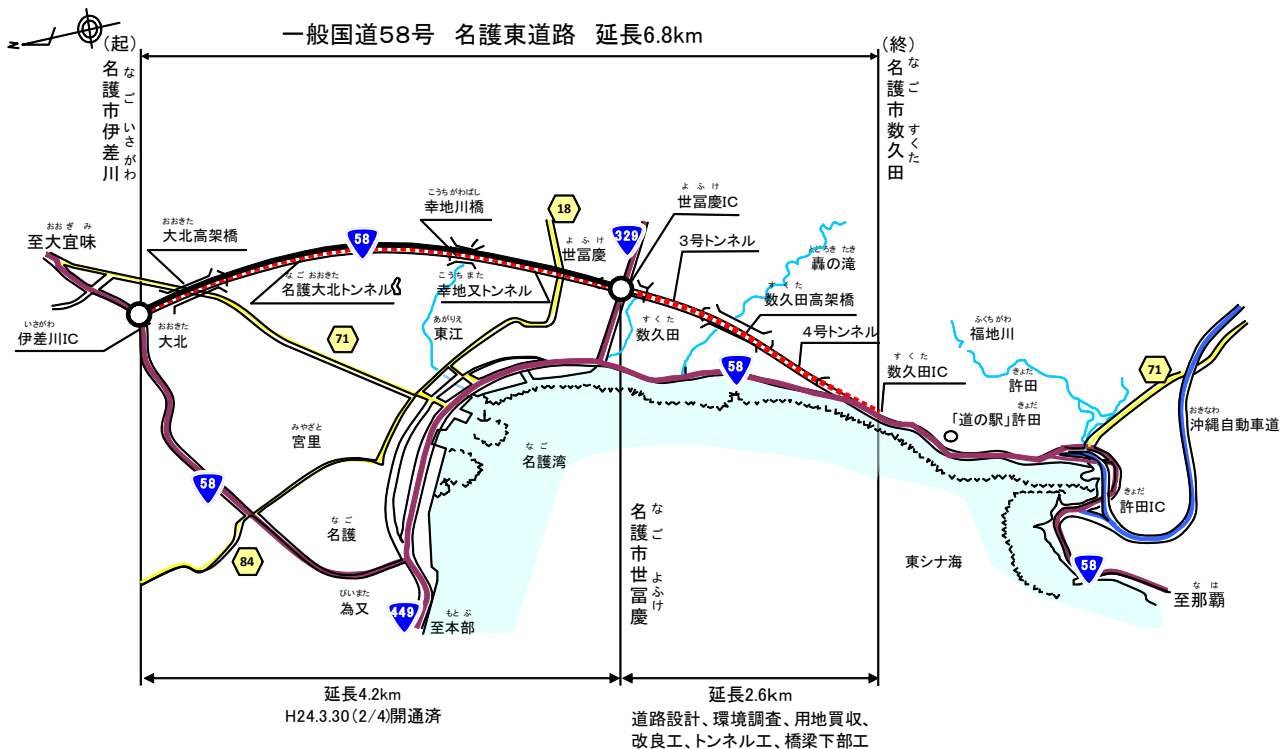


2. 平成26年度事業内容

- 名護市伊差川～名護市世富慶（延長4.2km）
 - ・暫定2車線開通済
- 名護市世富慶～名護市数久田（延長2.6km）
 - ・道路設計、環境調査、用地買収、改良工、トンネル工、橋梁下部工

（全体用地進捗率：約83%）

〔平成26年3月末現在〕



おきなわにし
沖縄西海岸道路
一般国道58号 読谷道路

1. 概要

一般国道58号の読谷村から嘉手納町間の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図るとともに、地域開発プロジェクトを支援することを目的とする道路。

○事業区間：沖縄県中頭郡読谷村親志
～中頭郡読谷村古堅

○延長：6.0km

○H26当初：5.8億円

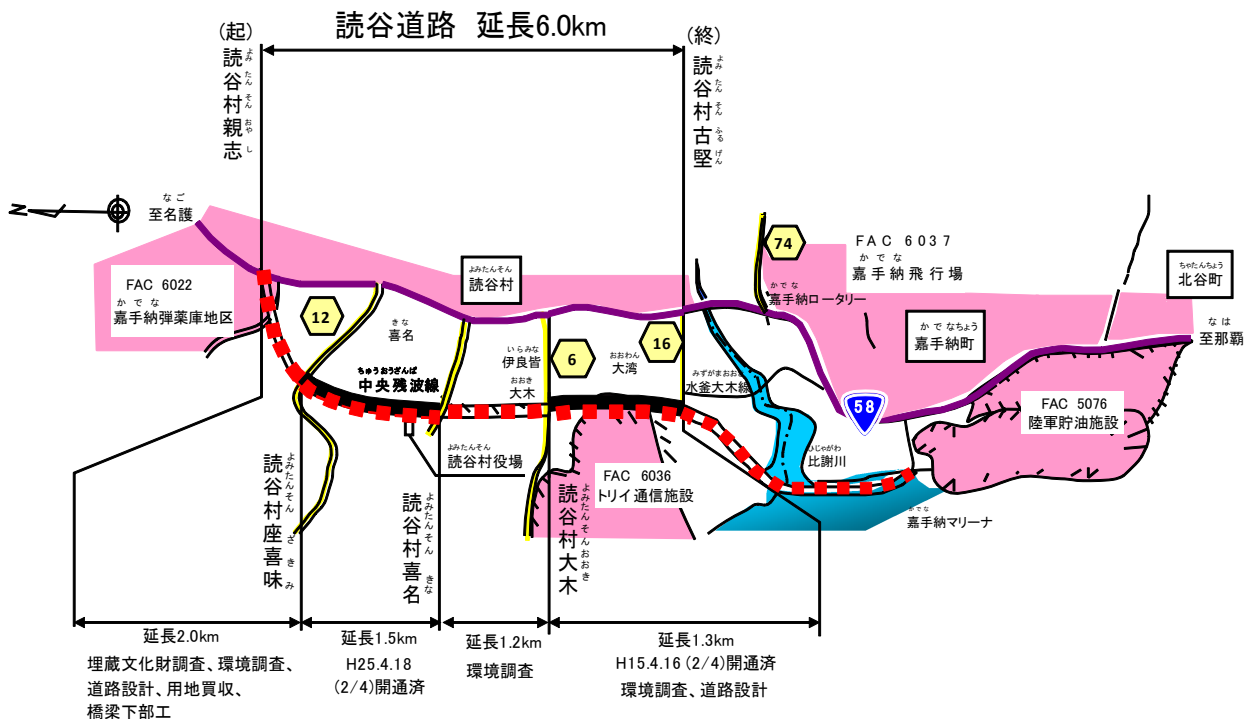


2. 平成26年度事業内容

- 中頭郡読谷村親志～中頭郡読谷村座喜味（延長2.0km）
 - ・埋蔵文化財調査、環境調査、道路設計、用地買収、橋梁下部工
- 中頭郡読谷村座喜味～中頭郡読谷村喜名（延長1.5km）
 - ・暫定2車線開通済
- 中頭郡読谷村喜名～中頭郡読谷村大木（延長1.2km）
 - ・環境調査
- 中頭郡読谷村大木～中頭郡読谷村古堅（延長1.3km）
 - ・暫定2車線開通済
 - ・環境調査、道路設計

（全体用地進捗率：約89%）

〔平成26年3月末現在〕



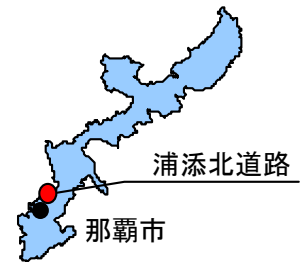
おきなわにし
沖縄西海岸道路

一般国道58号 浦添北道路

1. 概要

一般国道58号の宜野湾市から浦添市間の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図るとともに、那覇港・那覇空港へのアクセス強化による物流機能の向上など幹線道路網の形成を目的とする道路。

- 事業区間：沖縄県宜野湾市宇地泊～浦添市港川
- 延長：2.0km
- H26当初：67.6億円



2. 平成26年度事業内容

- 宜野湾市宇地泊～浦添市港川（延長2.0km）
 - ・埋蔵文化財調査、道路設計、用地買収、改良工、橋梁上部工、橋梁下部工

（全体用地進捗率：約66％）

〔平成26年3月末現在〕



おきなわにし
沖縄西海岸道路 一般国道58号 那覇北道路
なはしんこう 那覇新港ふ頭地区 臨港道路 若狭港町線
なはきた 那覇北道路
わかさみなとまち 若狭港町線

1. 概要

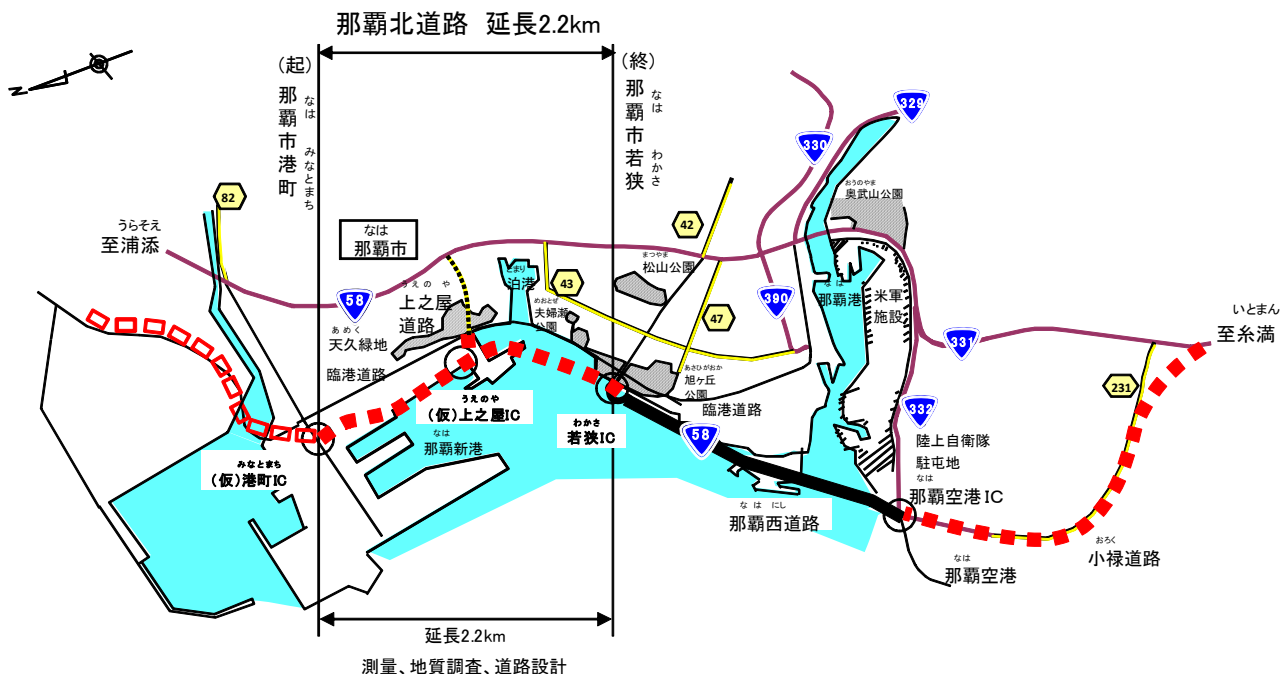
本道路は、那覇都市圏の環状道路を形成し、一般国道58号の那覇市街部及び周辺部の交通混雑の緩和を図るとともに、那覇港・那覇空港へのアクセス性向上による物流の効率化、観光振興を支援することを目的とする道路。

- 事業区間：沖縄県那覇市港町～那覇市若狭
- 延長：2.2km
- H26当初：1.0億円

2. 平成26年度事業内容

- 那覇市港町～那覇市若狭(延長2.2km)
 - ・測量、地質調査、道路設計
 - ・平成26年度事業化

(全体用地進捗率： 0%)
[平成26年3月末現在]



おきなわにし
沖縄西海岸道路

一般国道331号 豊見城道路

1. 概要

一般国道331号の豊見城市周辺部の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図るとともに、那覇港・那覇空港へのアクセス強化による物流機能の向上、周辺観光施設へのアクセス向上など幹線道路網の形成を目的とする道路。

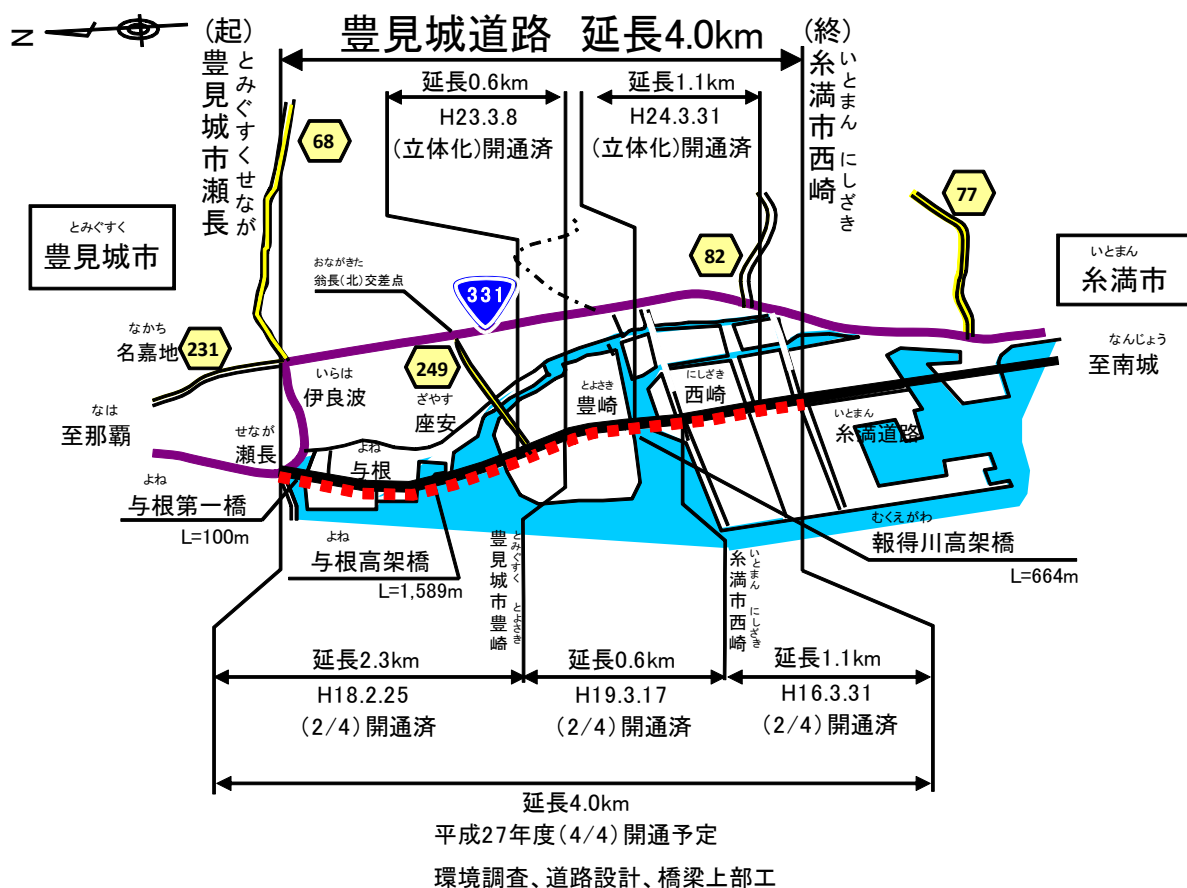
- 事業区間：沖縄県豊見城市瀬長～糸満市西崎
- 延長：4.0km
- H26当初：17.0億円

2. 平成26年度事業内容

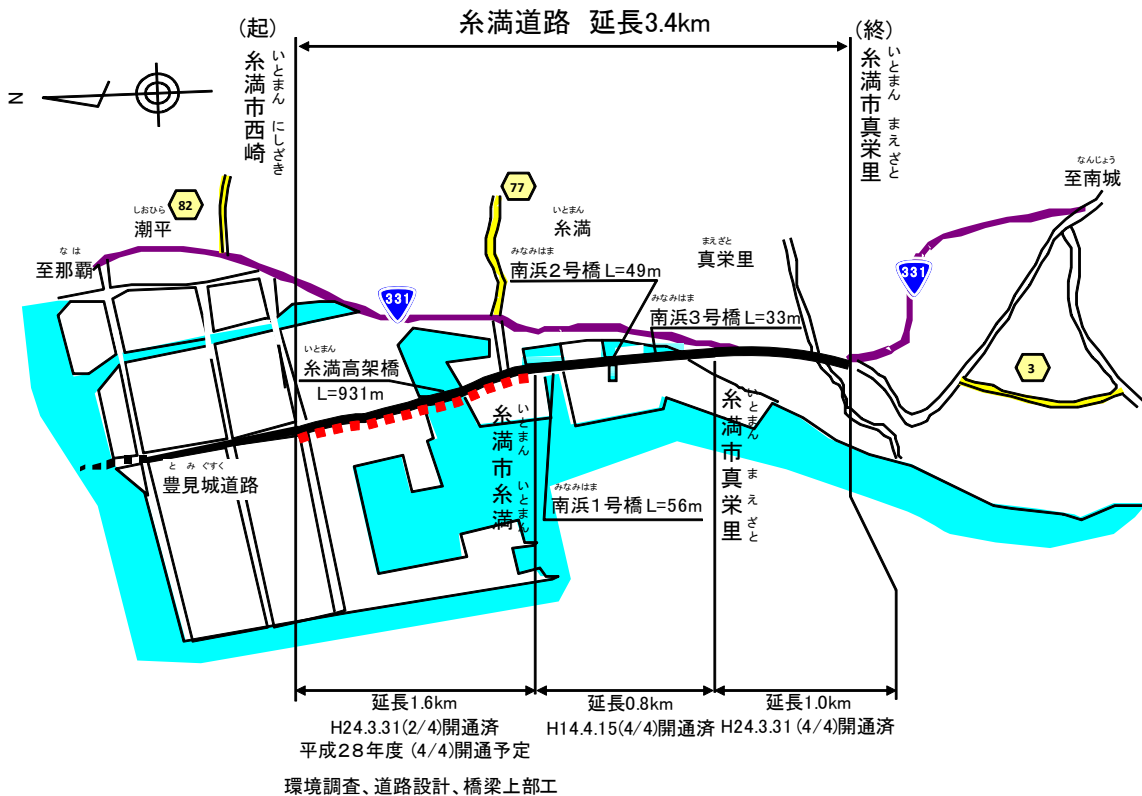
- 豊見城市瀬長～糸満市西崎（延長4.0km）
 - ・全線暫定2車線開通済
 - ・環境調査、道路設計、橋梁上部工
 - ・平成27年度完成4車線開通予定



（全体用地進捗率：100%）
〔平成26年3月末現在〕



いとまん



一般国道58号 恩納バイパス

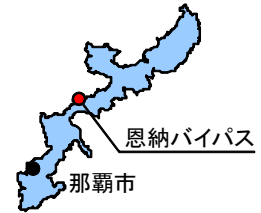
1. 概要

恩納バイパスは、本県有数のリゾート地である当地区の観光シーズンにおける交通混雑の緩和及び沖縄自動車道へのアクセス向上により沿道環境の改善、観光産業の支援を図ることを目的とした道路である。

○事業区間：沖縄県国頭郡恩納村字瀬良垣
～国頭郡恩納村字南恩納

○延長：5.1km

○H26当初：1.8億円



2. 平成26年度事業内容

○国頭郡恩納村字瀬良垣～国頭郡恩納村字南恩納（延長5.1km）

・暫定2車線開通済

・橋梁上部工

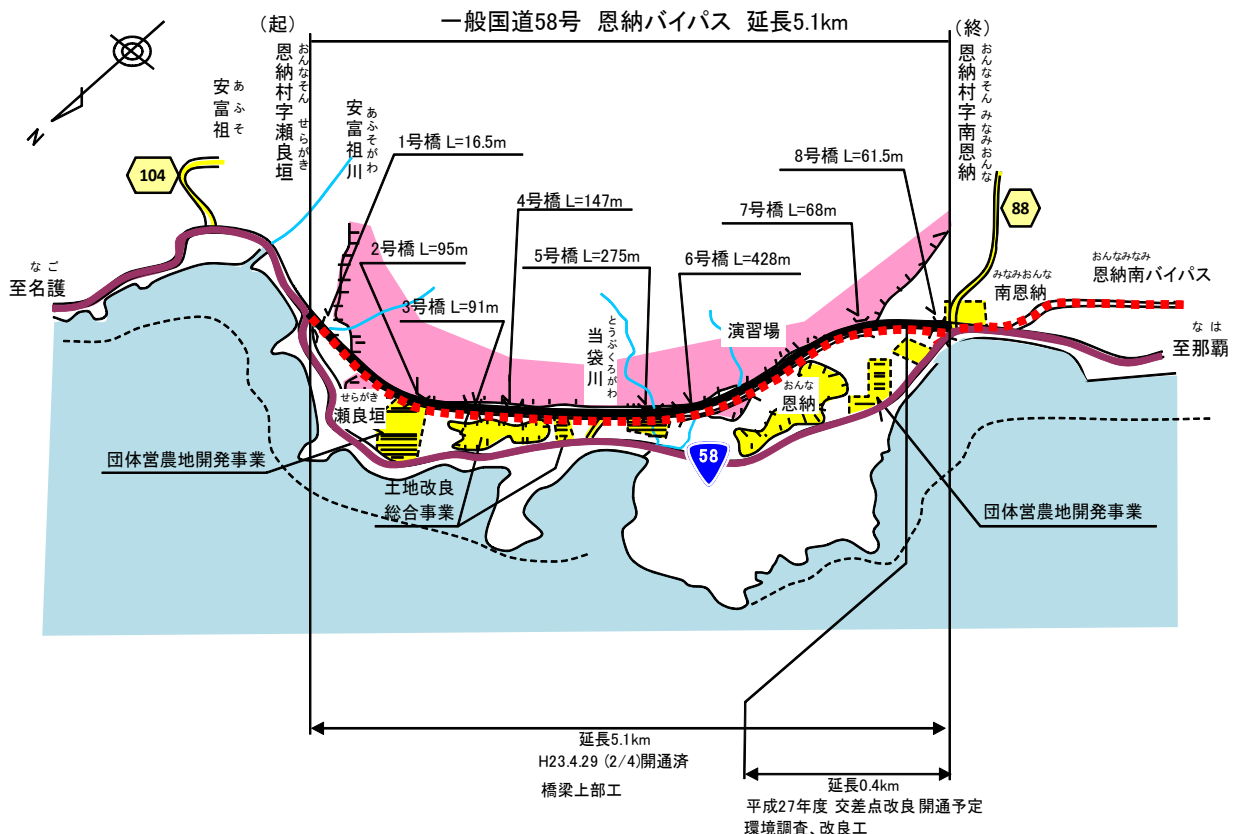
○国頭郡恩納村字瀬良垣～国頭郡恩納村字南恩納（延長0.4km）

・環境調査、改良工

・平成27年度交差点改良開通予定

（全体用地進捗率：約99%）

〔平成26年3月末現在〕



一般国道58号 恩納南バイパス

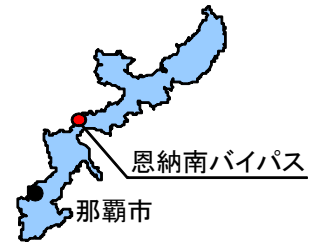
1. 概要

恩納南バイパスは、本県有数のリゾート地である当地区の観光シーズンにおける交通混雑の緩和及び沖縄自動車道へのアクセス向上により沿道環境の改善、観光産業の支援を図ることを目的とした道路である。

○事業区間：沖縄県国頭郡恩納村字南恩納
～国頭郡恩納村字仲泊

○延長：6.5km

○H26当初：17.0億円



2. 平成26年度事業内容

○国頭郡恩納村字南恩納～国頭郡恩納村字谷茶（延長2.0km）

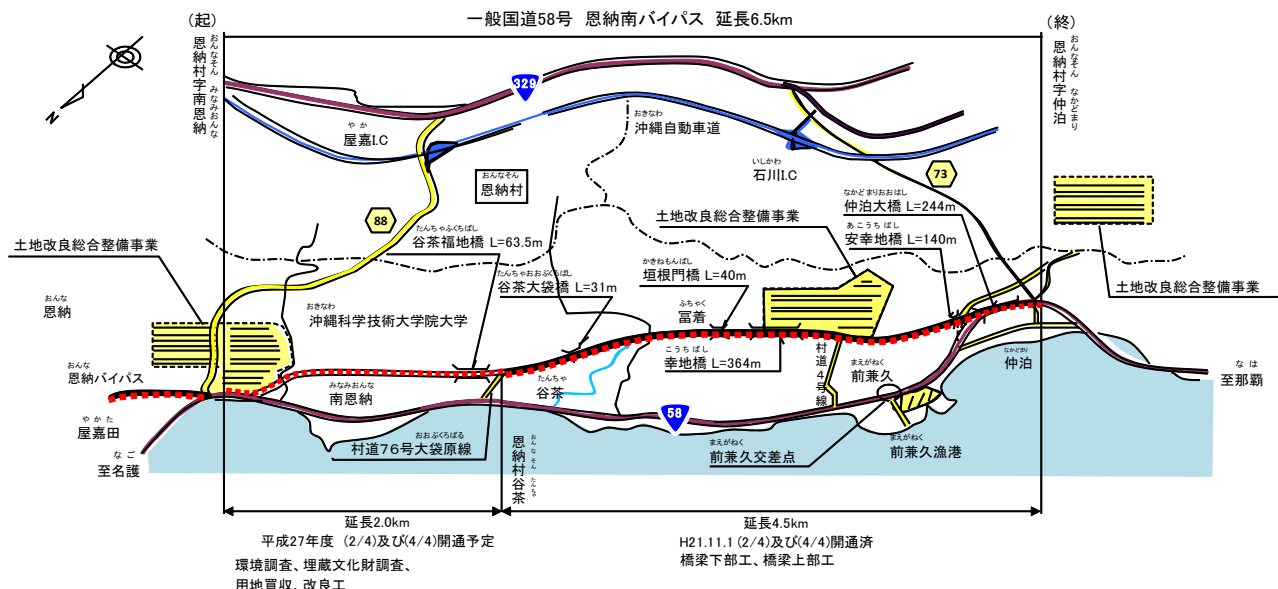
- ・環境調査、埋蔵文化財調査、用地買収、改良工
- ・平成27年度暫定2車線及び一部完成4車線開通予定

○国頭郡恩納村字谷茶～国頭郡恩納村字仲泊（延長4.5km）

- ・暫定2車線及び一部完成4車線開通済
- ・橋梁下部工、橋梁上部工

（全体用地進捗率：約97%）

〔平成26年3月末現在〕



一般国道58号 嘉手納バイパス

1. 概要

一般国道58号の読谷村から嘉手納町間の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図るとともに、周辺観光施設へのアクセス向上及び地域開発プロジェクトを支援することを目的とする道路。

○事業区間：沖縄県中頭郡読谷村古堅
～中頭郡嘉手納町兼久

○延長：3.2km

○H26当初：1.8億円

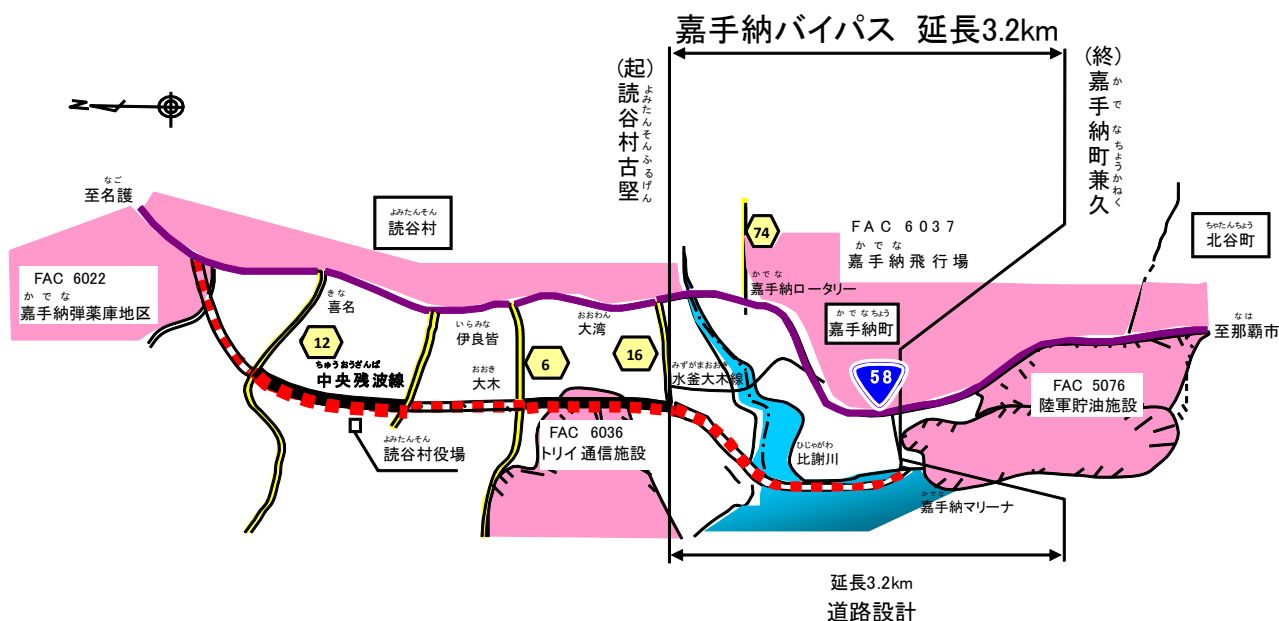


2. 平成26年度事業内容

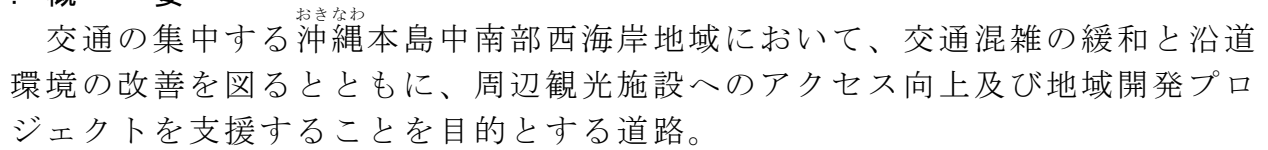
○中頭郡読谷村古堅～中頭郡嘉手納町兼久（延長3.2km）
・道路設計

（全体用地進捗率：約90％）

〔平成26年3月末現在〕



ちやたん



一般国道329号 宜野座改良

1. 概 要

宜野座改良は、平面及び縦断線形の改良による交通安全の確保、幹線道路としての機能向上を目的とした道路である。

○事業区間：おきなわ沖縄県くになみ国頭郡ぎのざそん宜野座村字ぎのざ宜野座
～くになみ国頭郡ぎのざそん宜野座村字かんな漢那

○延 長：2.7 km

○H 2 6 当初：3. 6 億円



2. 平成26年度事業内容

○国頭郡宜野座村字宜野座～国頭郡宜野座村字惣慶（延長1.1km）

・完成2車線開通済

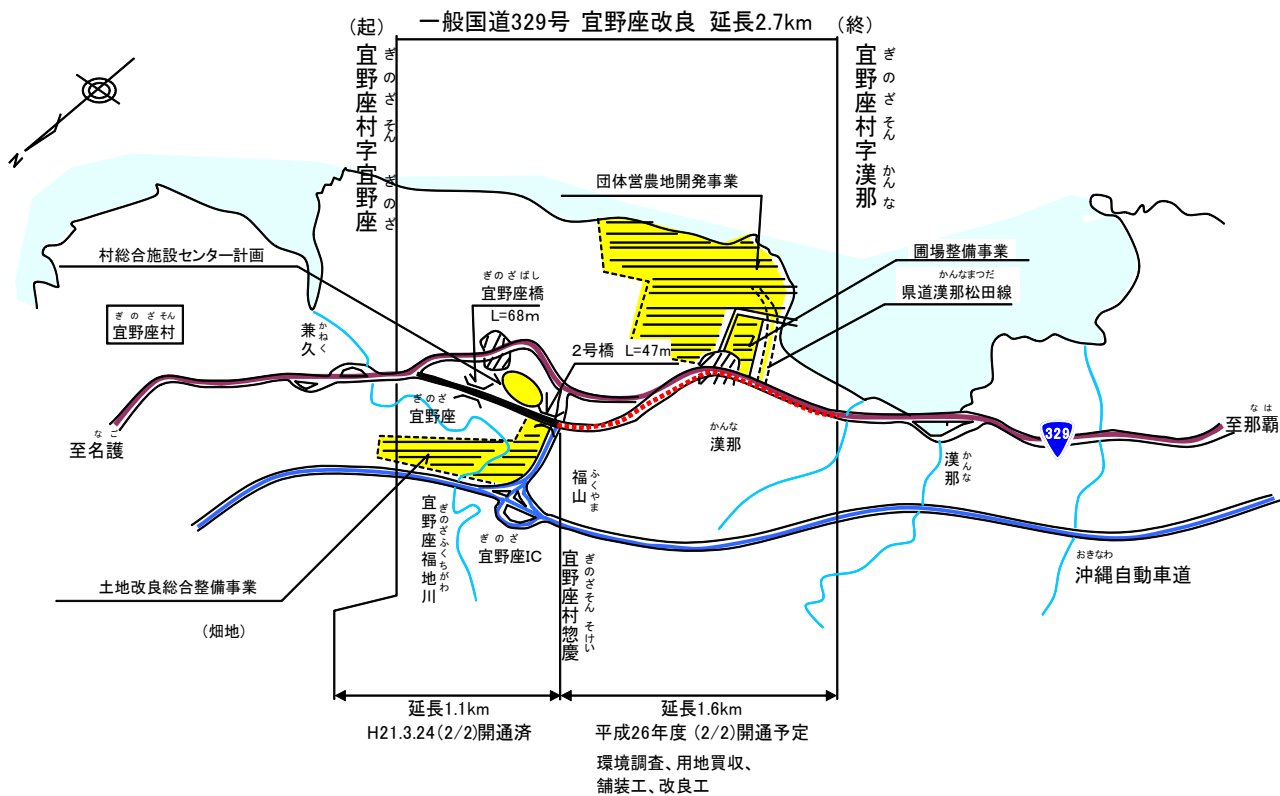
○国頭郡宜野座村字惣慶～国頭郡宜野座村字漢那（延長1.6km）

・環境調査、用地買収、舗装工、改良工

- ・平成26年度完成 2 車線開通予定

(全体用地進捗率：約92%)

[平成26年3月末現在]



一般国道329号 金武バイパス

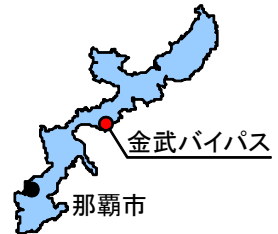
1. 概要

金武バイパスは、平面及び縦断線形の改良による交通安全の確保、幹線道路としての機能向上を目的とした道路である。

○事業区間：沖縄県国頭郡金武町字金武中川
～国頭郡金武町字金武浜田

○延長：5.6km

○H26当初：17.0億円

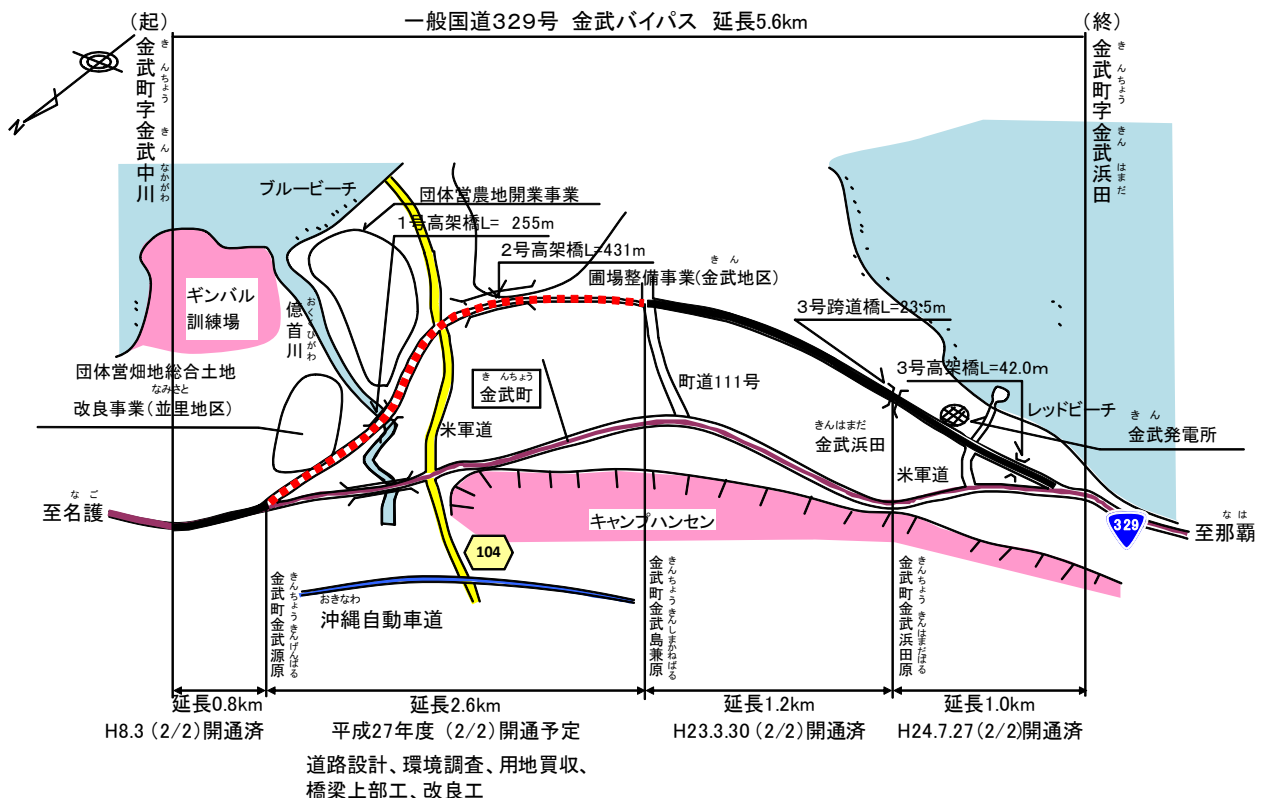


2. 平成26年度事業内容

- 金武町字金武中川～金武町字金武源原（延長0.8km）
 - ・完成2車線開通済
- 金武町字金武源原～金武町字金武島兼原（延長2.6km）
 - ・道路設計、環境調査、用地買収、橋梁上部工、改良工
 - ・平成27年度完成2車線開通予定
- 金武町字金武島兼原～金武町字金武浜田原（延長1.2km）
 - ・完成2車線開通済
- 金武町字金武浜田原～金武町字金武浜田（延長1.0km）
 - ・完成2車線開通済

（全体用地進捗率：約93%）

〔平成26年3月末現在〕



一般国道329号 与那原バイパス

1. 概要

一般国道329号の与那原町周辺の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図るとともに、那覇市へのアクセス強化など幹線道路網の形成を目的とする道路。

○事業区間：沖縄県中頭郡西原町小那覇
～島尻郡南風原町与那覇

○延長：4.2km

○H26当初：20.2億円



2. 平成26年度事業内容

○中頭郡西原町小那覇～中頭郡西原町東崎（延長0.7km）

・平成26年度暫定2車線開通予定

○中頭郡西原町東崎～島尻郡与那原町与那原（延長1.0km）

・暫定2車線開通済

○島尻郡与那原町与那原～島尻郡南風原町与那覇（延長1.7km）

・環境調査、用地買収、道路設計、改良工

・平成30年度暫定2車線開通予定

○島尻郡南風原町与那覇（延長0.5km）

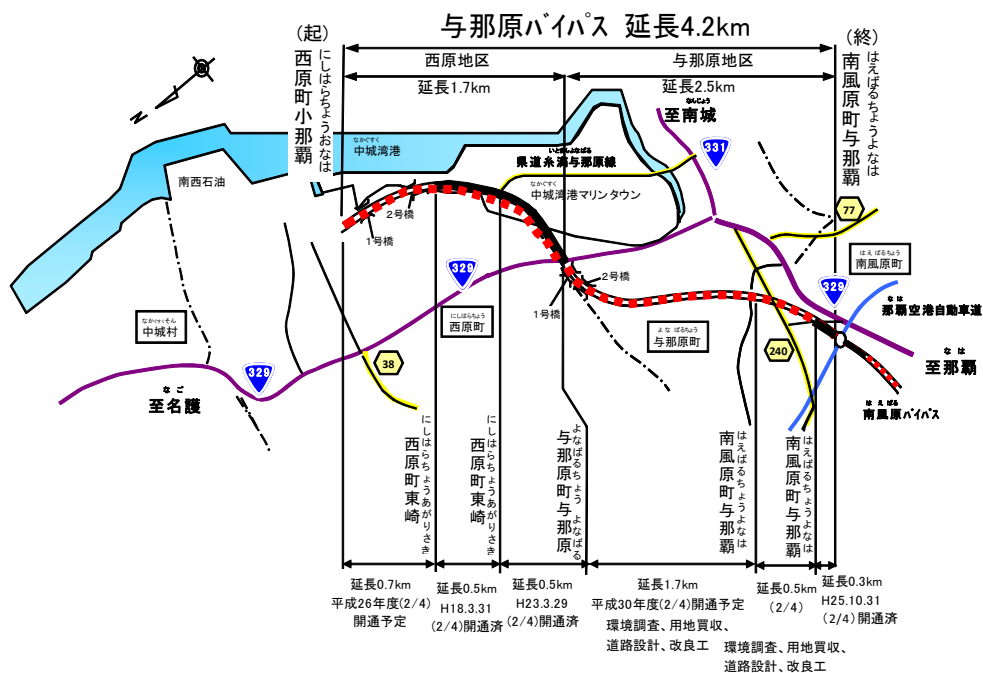
・環境調査、用地買収、道路設計、改良工

○島尻郡南風原町与那覇（延長0.3km）

・平成25年10月31日暫定2車線開通済

（全体用地進捗率：約93%）

[平成26年3月末現在]



一般国道 329号 ^{は え ば る} 南風原バイパス

1. 概 要

一般国道 329 号の南風原町から那覇市間の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図るとともに、那覇空港自動車道、那覇東バイパス、与那原バイパス、都計道真地・久茂地線と一体となった幹線道路網の形成を目的とする道路。

○事業区間：^{おきなわ}沖縄県^{しまじり}島尻郡^{はえばるちよう}南風原町^{よなは}与那覇^{なは}～^{うえま}那覇市上間

○延 長： 2. 8 k m

○H 2 6 当初：20.2億円



2. 平成26年度事業内容

しまじり はえばるちよう よ な は しまじり はえばるちよう みやひら
○島尻郡南風原町与那覇～島尻郡南風原町宮平（延長0.3km）

・暫定2車線開通済

しまじり はえばるちようみやひら しまじり はえばるちようあらかわ
○島尻郡南風原町宮平～島尻郡南風原町新川（延長1.2km）

- ・用地買収、道路設計、改良工、橋梁下部工、橋梁上部工

- ・平成27年度暫定2車線開通予定

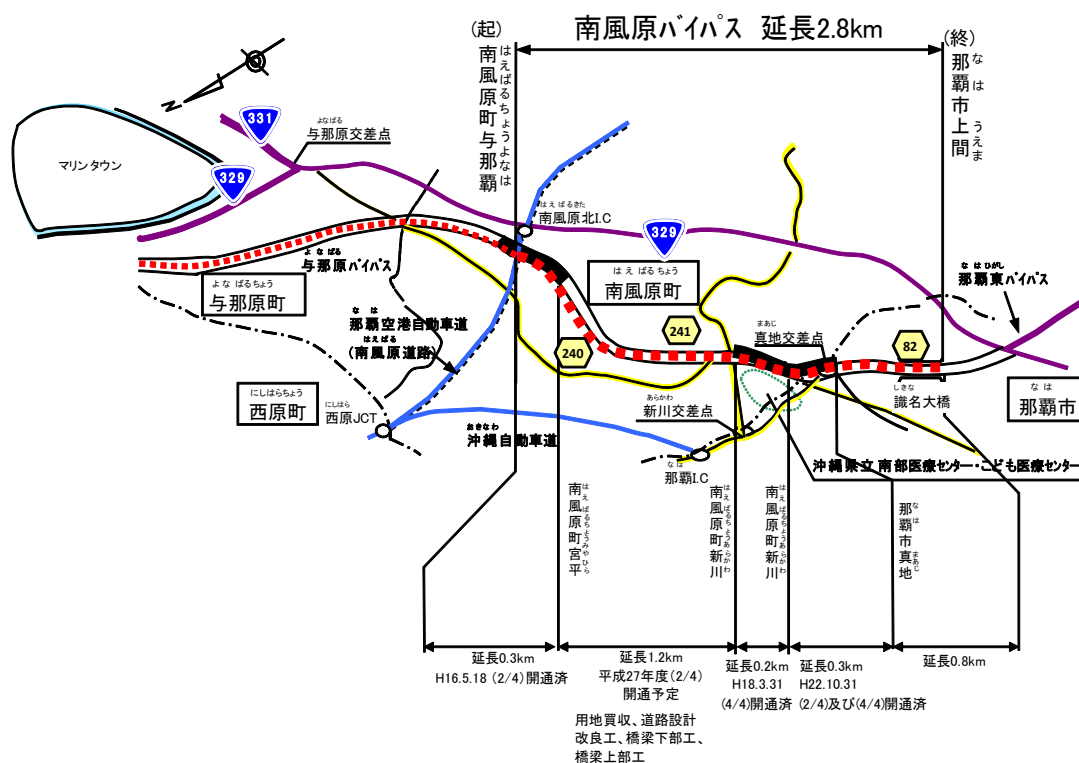
○島尻郡南風原町新川～那覇市真地（延長0.5km）

- ・完成4車線及び一部暫定2車線開通済

○那覇市真地～那覇市上間（延長0.8km）

(全体用地進捗率：約92%)

〔平成26年3月末現在〕



一般国道331号 中山改良

1. 概要

一般国道331号の南^{なんじょう}城市内の平面及び縦断線形の改良による交通安全の確保により幹線道路としての機能向上を目的とする道路。

○事業区間：沖縄県南^{おきなわ}城市玉^{なんじょう}城志堅原^{たまぐすくしけんばる}
～南^{なんじょう}城市玉^{たまぐすくなかやま}城中山

○延長：1.8km

○H26当初：3.0億円



2. 平成26年度事業内容

○南^{なんじょう}城市玉^{たまぐすくしけんばる}城志堅原^{なんじょう}～南^{なんじょう}城市玉^{たまぐすくなかやま}城中山（延長0.9km）

・完成2車線開通済

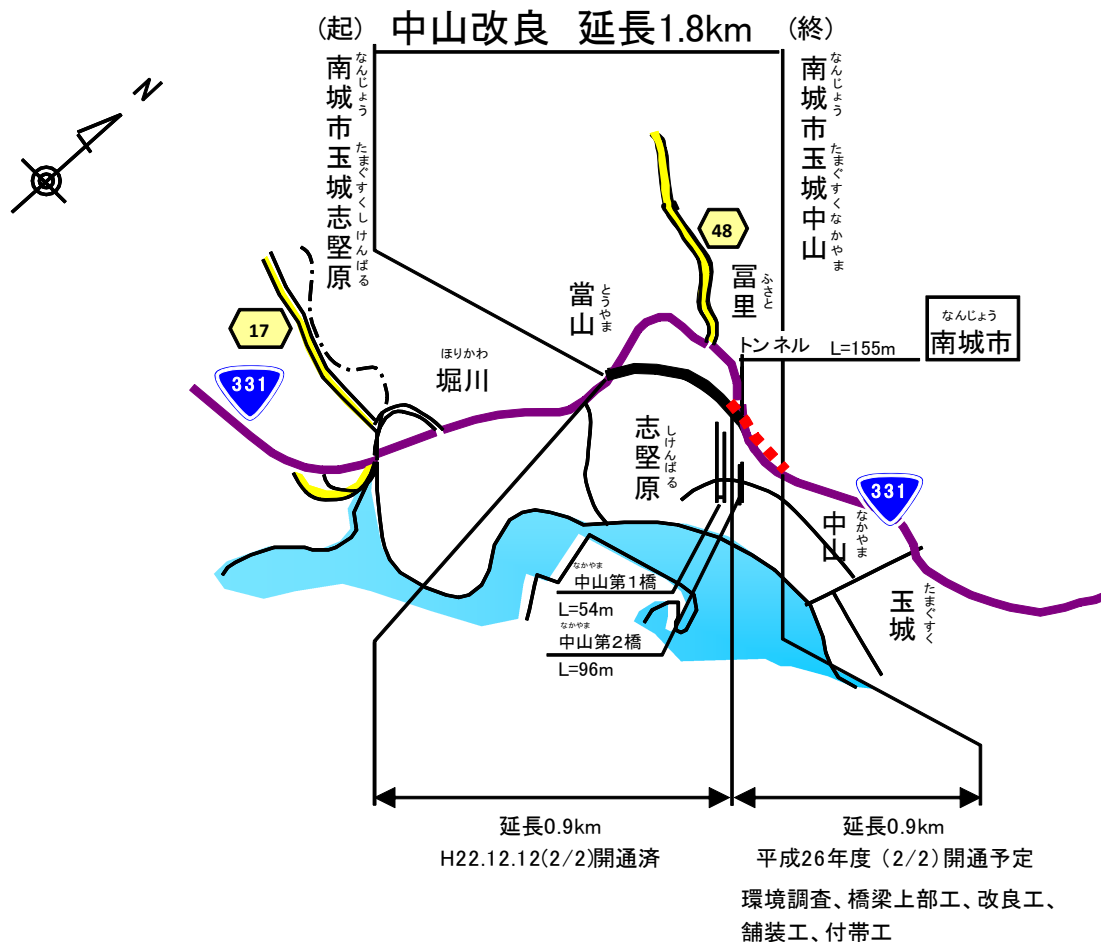
○南^{なんじょう}城市玉^{たまぐすくなかやま}城中山（延長0.9km）

・環境調査、橋梁上部工、改良工、舗装工、付帯工

・平成26年度完成2車線開通予定

（全体用地進捗率：100％）

〔平成26年3月末現在〕



一般国道329号 あがりみなとばし 東港橋架替

1. 概 要

あがりみなとばし

東港橋については復帰後整備を行ったものであるが、近年急速に塩害が進行していることから橋梁架替を行い、おきなわ沖縄本島東海岸を縦貫する幹線道路としての安全性を確保することを目的としている。

○事業区間：おきなわ沖縄県くにがみ国頭郡きんちよう金武町やか字屋嘉

○延長：0.3km

○H26当初：0.4億円



2. 平成26年度事業内容

○きんちよう金武町やか字屋嘉（延長0.3km）

- ・道路設計、改良工
- ・平成26年度事業化



道路に関する現地実証実験(社会実験)

1. 概要

道路に関する先進的または斬新な施策について、当該施策を本格実施するにあたり、現地で市民等の参加のもと、効果や影響を確認するため、場所と期間を限定して試行・評価する現地実証実験の公募を毎年行なっています。

実験内容や申請等に関する事前相談・問い合わせを随時受け付けております。

2. 平成26年度取り組み内容

現在、公募・申請中

◆ 社会実験を活用した実施例

【那覇市国際通りにおけるトランジットモール社会実験 本格実施例】



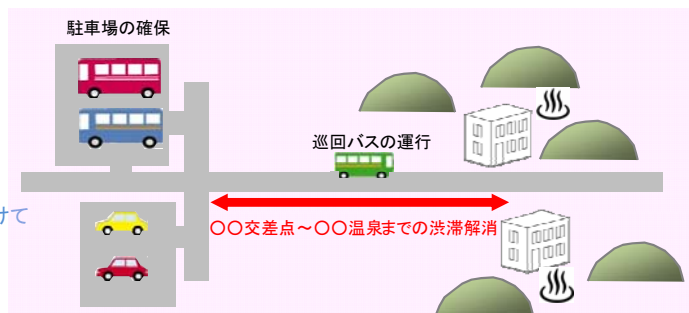
※トランジットモールとは・・・自家用車の通行を制限し、バスなどの公共交通機関の進入のみを許可した形態の歩行者道路(モール)を指すものです。

<参考> 社会実験を活用した課題の解決イメージ

パーク&ライドを用いた観光地の渋滞解消に関する社会実験(事例)



課題の解決に向けて



◆ 社会実験のお問い合わせ

【公募時期】

応募案件登録 毎年3月末～4月末

【相談窓口】

沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課 大城・城間 TEL:098-866-1914

※詳しくは <http://www.mlit.go.jp/road/demopro/index.html>

沖縄風景街道

1. 概要

日本風景街道は、地域の魅力・美しさを発見、創出するとともに、景観、自然、歴史、文化等の地域活性化、観光振興に寄与することを目的とし、全国で134ルート(平成26年4月現在)が登録されています。それぞれの地域(パートナーシップ)において、植樹活動や清掃活動、ガイドブックやサインの充実、普及啓蒙活動としての意見交換会等が展開されています。

沖縄風景街道では、2つの風景街道、3つのパートナーシップが登録されており、「沖縄地方風景街道協議会・南北交流会」として、ウォーキング(地域資源の再発見)や意見交換会等を実施しています。

2. 平成26年度事業内容

「沖縄地方風景街道協議会・南北交流会」を12月頃に予定しています。



琉球王国のグスク及び関連遺産群として世界遺産に登録される。



琉球王国時代の宿道として保全されている。



久高島等が望めるビューポイント

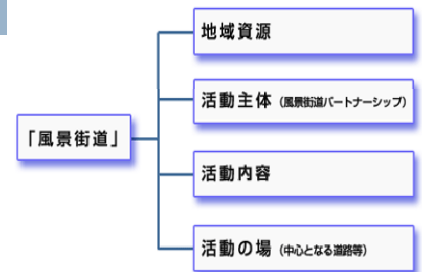
◆琉球歴史ロマン街道「宿道」
(美と海とやんばるの風景海道)

◆琉球歴史ロマン街道「宿道」
(沖縄南部風景街道パートナーシップ)

◆やんばる風景花街道
(やんばるの花と美の風景街道)



◆風景街道を構成する要素



登録番号	風景街道の名称	中心となる道路の名称	中心となる道路の道路管理者	風景街道パートナーシップの名称	風景街道パートナーシップの代表者指名
沖縄ー001 (H19d)	琉球歴史ロマン街道「宿道」	国道58号 国道449号 国道505号 (主)名護本部線	沖縄総合事務局 北部国道事務所 県北部土木事務所	美ら海とやんばるの 風景海道	森 兵次 (NPO法人ツール・ド・ おきなわ協会)
沖縄ー002 (H19d)	琉球歴史ロマン街道「宿道」	国道331号	沖縄総合事務局 南部国道事務所	沖縄南部風景街道 パートナーシップ	真栄里 泰山 (沖縄大学)
沖縄ー003 (H25d)	やんばる風景花街道	国道58号 国道331号 県道70号線	沖縄総合事務局 北部国道事務所 県北部土木事務所	やんばるの花と美の 風景街道	高嶺 晃 (NPO法人やんばる 花街道観光協会)

一般国道58号 北部地区交通安全対策事業

1. 概要

当該箇所は、本島北部地域と県庁所在地とを結節する主要幹線道路で交通量の多い区間である。沿線には、公立の小中学校や地域の主要公共施設等が集積しており、交安法に指定され通学路としても利用されているが、港一丁目交差点付近では、道路幅員が広く速度超過しやすい直線区間を有しており重大事故が多発している。また、仲泊（南）交差点では、追突事故や出会い頭事故、右折時やUターン時の事故も多発しており、両地区とも事故危険区間及び事故危険箇所にも位置付けられている。

本事業は、交差点コンパクト化・視距改良・滑り止め舗装及び減速・注意喚起の路面標示することにより速度抑制・追突事故防止を図るものである。

- 事業箇所：沖縄県名護市港^{なごしみなと}・恩納村仲泊^{おんなそんなかどまり}地内
- 箇所数：2箇所
- H26当初：2.8億円

2. 平成26年度事業内容

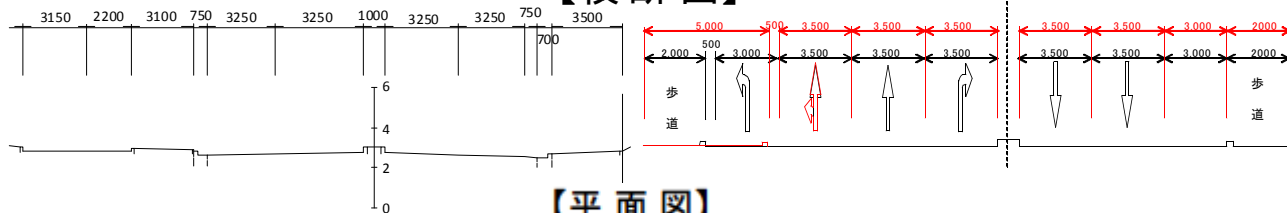
- ・設計、工事
- ・平成26年度供用予定



【位置図】

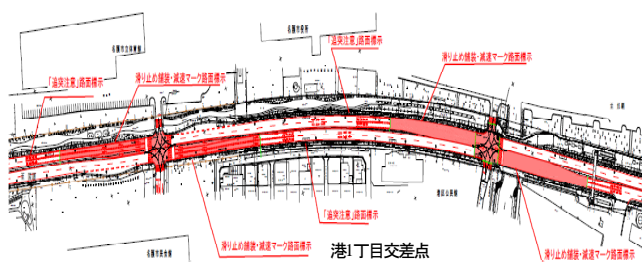


【横断図】

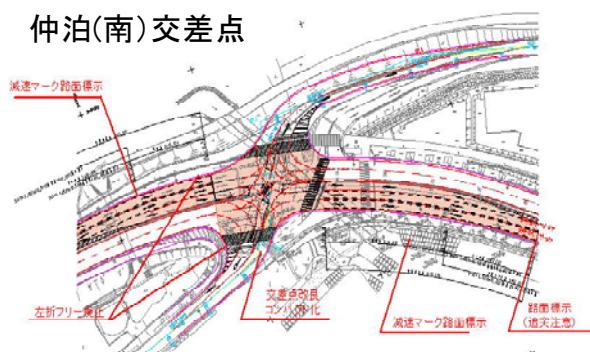


【平面図】

港1丁目交差点



仲泊(南)交差点



一般国道58号 交通安全施設設置

1. 概要

当該区間は、沖縄本島における重要幹線道路である国道58号に位置し、沿線には沖縄の公共交通機関の中心である、バスターミナル、モノレール駅、大型ショッピングセンター、公立学校等の公共施設が数多く立地している。

また、交通事故が多発しており、事故ゼロプランとしても抽出された箇所を複数有している。

今後、導入が予定されているバスレーン区間ともなっており、その対応も急務となっている。

本事業は、車両停車帯改修、カラー舗装施設改修等の整備により通行車両の安全確保、バス利用者の利便性の向上、一般交通及びバス交通相互の円滑性確保を図るものである。

- 事業区間：沖縄県那覇市・浦添市・宜野湾市
- 箇所数：1箇所
- H26当初：2.0億円

【位置図】



2. 平成26年度事業内容

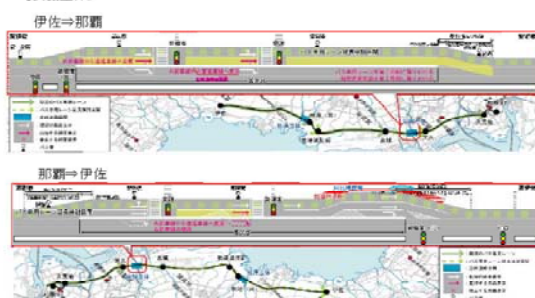
- ・設計、工事
- ・平成27年度共用予定

■事業概要図

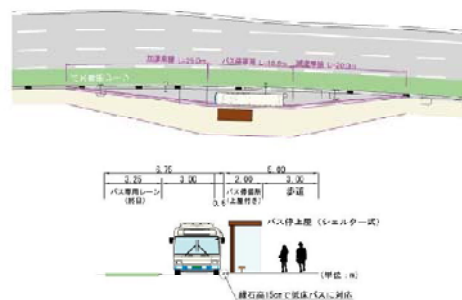


■道路施設改修箇所平面図及び車両停車帯設置平面図

【安謝立体】



■車両停車帯設置: 4箇所(上り: 2箇所、下り: 2箇所)



一般国道329号 奥間南交差点改良

1. 概要

当該箇所は、近隣に津覇小学校があり、交安法に基づく通学路指定がなされている。
また、国道329号那覇向け車線の車線構成は単路部は直進2車線であるが交差点部においては直進1車、右折1車運用となることから、直進車線合流箇所において右折車輛との錯綜から、交通事故が多発しているとともに、相互に通行を阻害する状況から、朝夕は慢性的な交通渋滞が発生し対策が急務となっている。

本事業は、右折専用車線を設置することで交通流の円滑化を図り、交差点における事故防止及び交通渋滞の解消を目的に交差点改良を行う。

- 事業箇所：沖縄県中城村字奥間
- 箇所数：2箇所
- H26当初：2.0億円

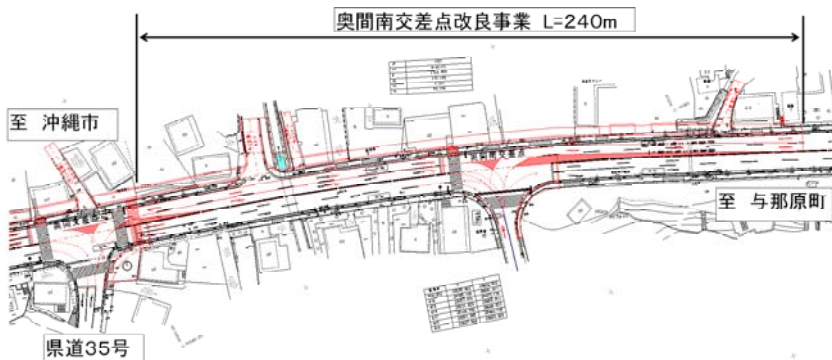
【位置図】



2. 平成26年度事業内容

- ・設計、用地

【平面図】



【平面図】 現況



一般国道329号 第一小那覇車両停車帯設置

1. 概要

当該箇所は、西原町の中央部に位置し、沿道は商業地域となっており、中学校や町立図書館、社会福祉施設等が点在している。また、交安法第1条に基づく通学路指定及び自歩道指定がされているが、歩道幅員が狭く、バス乗降客と歩行者の双方が利用しているが、利便性に支障をきたしており、併せて車両停車帯が未整備の為、バス停車時に後続車両が急な車線変更を余儀なくされている状況で、死傷事故率や混雑度の高い区間でもある。

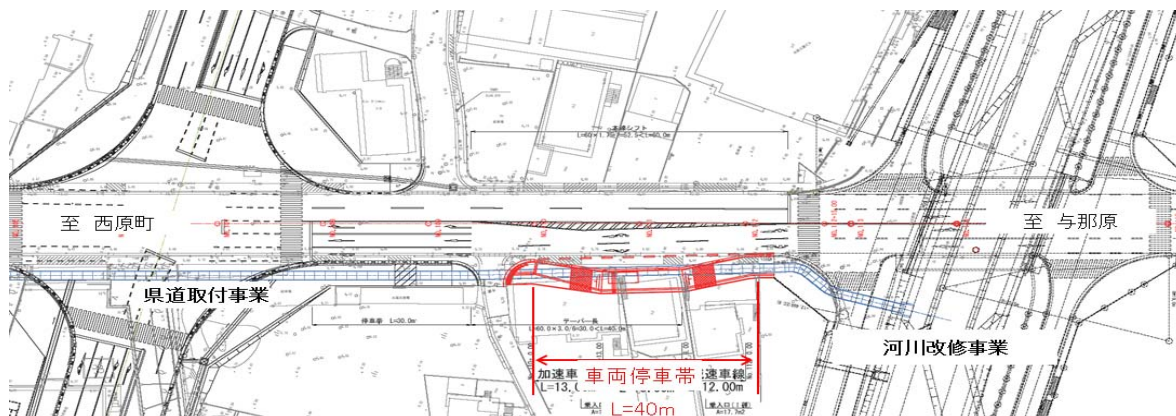
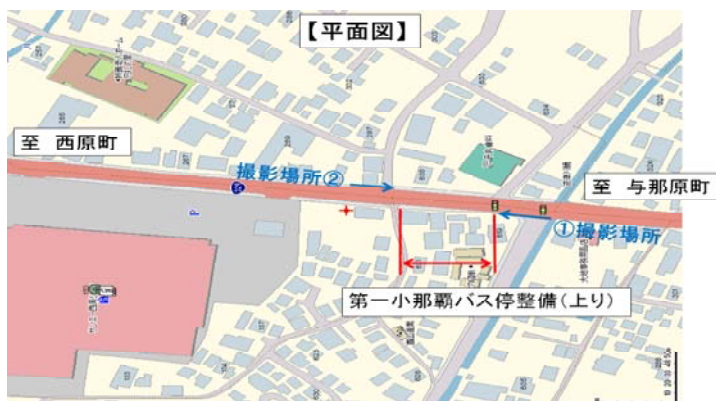
なお、当該箇所は、沖縄県の河川改修・西原町道整備事業・沖縄県道路改良事業等との協同事業である。

本事業は、車両停車帯の設置により通行車両の安全確保、バス利用者や歩行者等の利便性の向上を図るものである。

- 事業箇所：沖縄県西原町小那覇
- 箇所数：1箇所
- H26当初：0.2億円

2. 平成26年度事業内容

- ・工事
- ・平成26年度共用予定



一般国道329号 ^{とうまばる} 当間原車両停車帯設置

1. 概要

当該箇所は、近隣に北丘小学校、保育園、社会福祉施設等があり、交安法に指定された、通学路として利用されている。

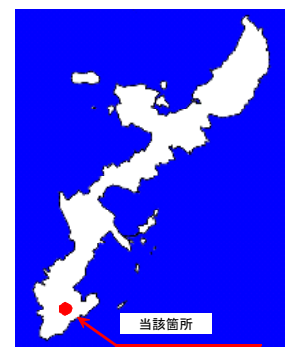
しかし、歩道幅員が狭く、バス乗降時には、乗降客と歩行者が錯綜し利便性に支障をきしている。

また、車両停車帯が未整備な為、バス乗降時には直進阻害、追突事故も発生しており、事故危険区間にも位置付けられている。

本事業は、南風原町の都市計画事業との協同事業であり、併せて車両停車帯を設置する事により、事故防止を図るものである。

【位置図】

- 事業箇所：^{はえばる ちようみやひら} 沖縄県南風原町 宮平
- 箇所数：1箇所
- H26当初：1.2億円



2. 平成26年度事業内容

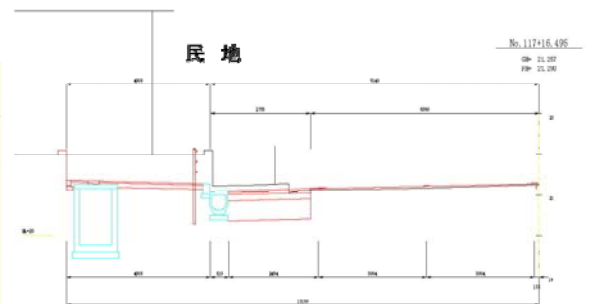
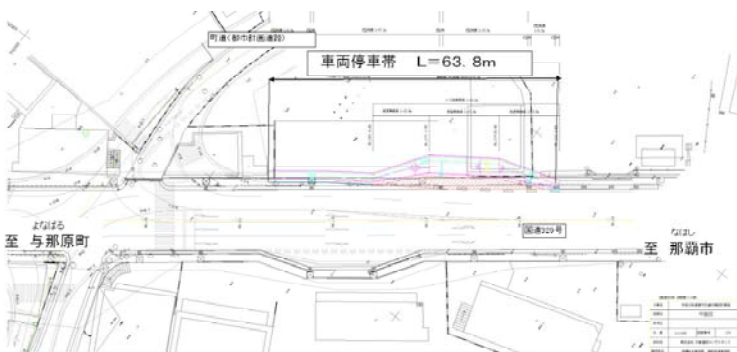
- ・設計、用地

【平面図】現況



【現況・計画断面図】

【平面図】計画



一般国道329号 ^{う え ま} 上間交差点改良

1. 概 要

当該箇所は、国道329号と県道82号線及び国道507号が交差する交差点である。周辺には、仲井間小学校、仲井間中学校、沖縄盲学校があり、交安法に指定された通学路として利用されているが、交差点内が広く、各進入部の停止線間距離が長い上、交差点内の視認性が著しく劣るため、事故が多発している。また、事故危険区間にも位置付けられている。

本事業は、交差点のコンパクト化を図る事により、交差点における事故防止を図るとともに安全・安心な歩行空間の確保を行うものである。

- 事業箇所：沖縄県那覇市^{な は}上間^{う え ま}
- 箇所数：1箇所
- H26当初：0.6億円

2. 平成26年度事業内容

- ・設計

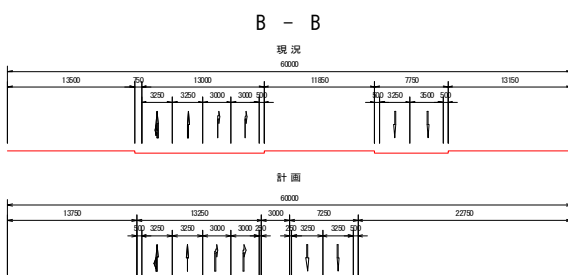
【位置図】



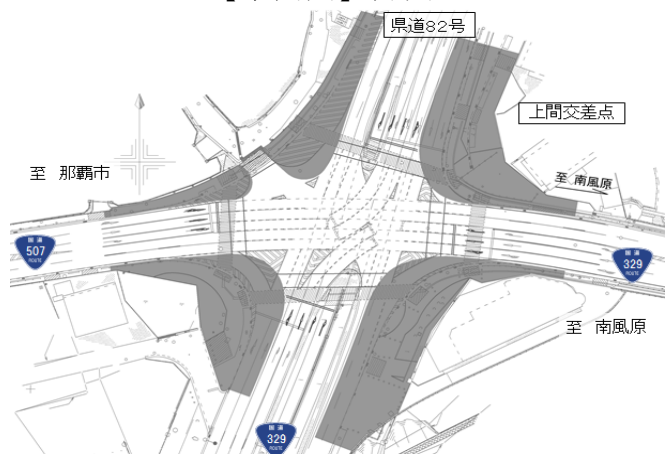
【平面図】現況



【現況・計画断面図】



【平面図】計画



一般国道330号 ^{いしんだ}石平交差点改良

1. 概要

当該箇所は、国道330号と県道81号線及び米軍基地(キャンプフォスター)の出入口が接道する位置にあり、周辺は普天間小学校・普天間高等学校・沖縄自動車道の北中城ICの施設が点在している。

当該交差点は、曲線区間内に交差点があり、且つ縦断勾配もきつく直線・右折時には前方の交差点状況を視認しづらい上、横断歩行者も視認しづらい。また、本線道路通過車両及び従道路の右折車両の速度が超過し易いため事故が多発しており、事故危険区間にも位置付けられている。

本事業は、縦断勾配の改良、導流線内カラー化等を行い、交差点における事故対策のため、交差点改良を行うものである。

- 事業箇所：沖縄県北中城村安谷屋 ^{きたなかぐすくそん あだにや}
- 箇所数：1箇所
- H26当初：1.0億円

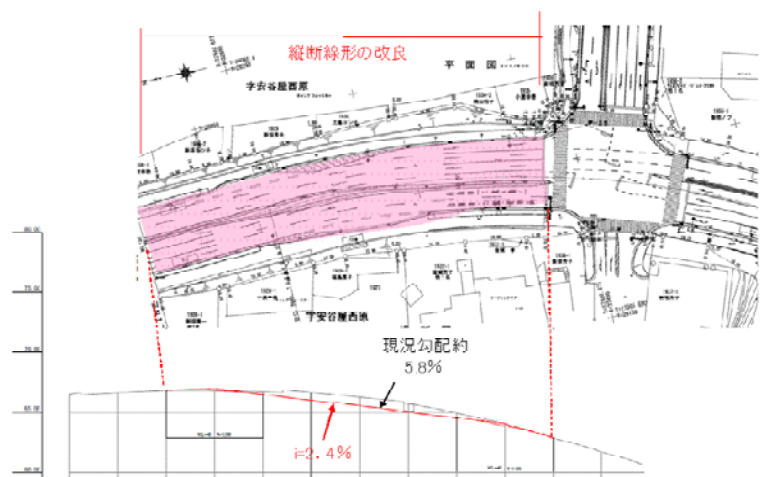
【位置図】



2. 平成26年度事業内容

- ・設計、工事
- ・平成27年度共用予定

【平面図】



一般国道 330 号 我如古^{がねこ}交差点改良

1. 概要

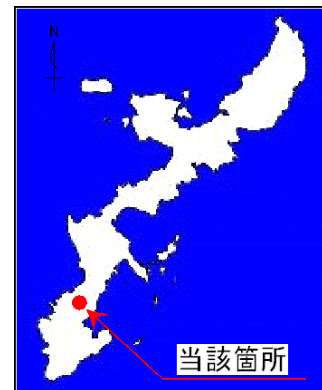
当該箇所は、一般国道 330 号と県道 34 号線が交差する交差点である。

国道 330 号那覇向け車線の車線構成は単路部は直進 2 車線であるが交差点部においては直進 1 車、右折 1 車運用となることから、直進車線合流箇所において右折車輦との錯綜から、交通事故が多発しているとともに、相互に通行を阻害する状況から、朝夕は慢性的な交通渋滞が発生し対策が急務となっている。

本事業は、右折専用車線を設置することで交通流の円滑化を図り、交差点における事故防止及び交通渋滞の解消を目的に交差点改良を行うとともに、併せて無電柱化を行うものである。

【位置図】

- 事業箇所：沖縄県宜野湾市我如古^{ぎのわんしがねこ}
- 箇所数：1 箇所
- H26 当初：6.0 億円



2. 平成 26 年度事業内容

- ・設計、用地、工事
- ・平成 27 年度共用予定

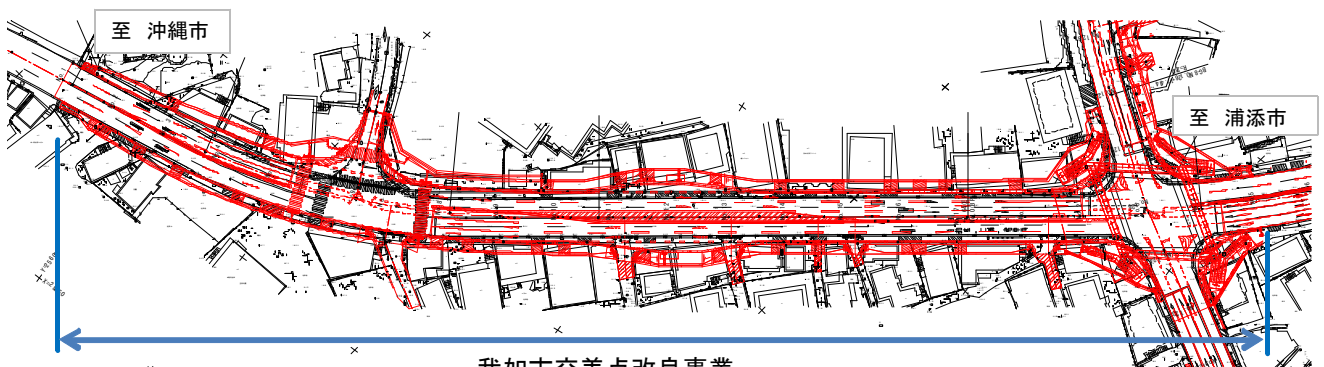
【平面図】



至 沖縄市



至 浦添市



我如古交差点改良事業

一般国道331号

津波古地区安全対策(その2)事業

1. 概要

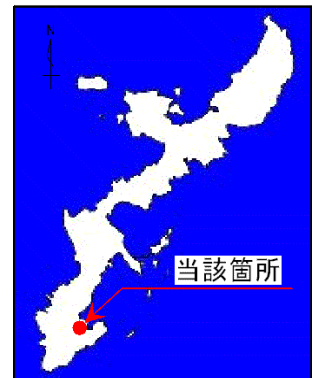
当該箇所は、南城市東部に位置し同地域周辺の主要幹線道路で且つ生活道路である。沿道は人家や店舗が連なる住宅地域であり、周辺には小学校や県営団地、社会福祉施設等が点在している。

当該区間は交安法第6条に基づく通学路指定及び自歩道指定がなされているが、歩道幅員が狭小で一部未設置区間もあり互いにすれ違えないためやむを得ず車道を歩行する者ができる状況である。また、死傷事故率の高い区間でもあり、児童・生徒が交通事故に巻き込まれる危険性が危惧されている。しかし、平成21年6月には、隣接する津波古地区(平成23年度に事業化)において地元小学校の児童生徒が路線バスに巻き込まれる死亡事故が発生した。これを受け、平成21年11月には国道331号南城市佐敷地区の改良について住民総決起大会が開催され、地元から危険な道路の早期改善要望が決議されており、早期対策が望まれている。

本事業は、狭小な歩道を拡幅するとともに線形不良区間の改良や車両停車帯の設置、主要な交差点に付加車線を設置して交通の円滑化を図り、事故対策も兼ねて行うものである。

- 事業箇所：沖縄県南城市佐敷津波古
- 事業量：延長0.56km
- H26当初：5.0億円

【位置図】

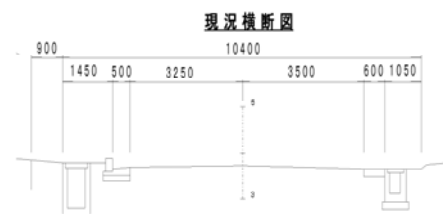


2. 平成26年度事業内容

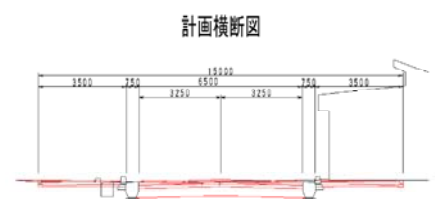
- ・設計、用地
- ・平成28年度共用予定



【平面図】



現況断面図



計画断面図

一般国道331号 津波古地区安全対策事業

1. 概要

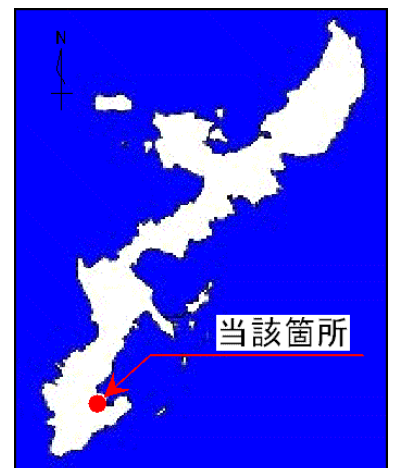
当該箇所は、近隣に小学校や県営団地、社会福祉施設等が立地しており、交安法第6条に基づく通学路指定及び自歩道指定がなされているが、歩道の未整備区間や幅員狭隘区間や線形不良区間を有しており、交通事故の危険性が危惧されていた箇所である。

平成21年6月に地元児童が路線バスと接触し、死亡する事故が発生しており、同年11月には、地元において早期改善を求める住民総決起大会が開かれている。

本事業は、歩道整備と併せて道路線形改良や車両停車帯の設置等を行い、歩行者・自転車の安全を確保するとともに高齢者、身障者、児童生徒等が安心して通行できる歩行空間のバリアフリー化や通行車両の安全確保を図るものである。

- 事業箇所：沖縄県南城市佐敷津波古
- 事業量：延長0.3km
- H26当初：5.0億円

【位置図】

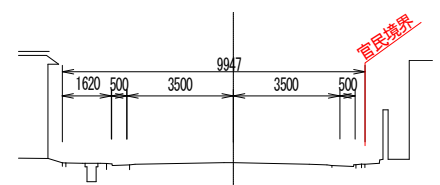


2. 平成26年度事業内容

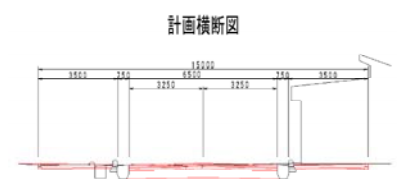
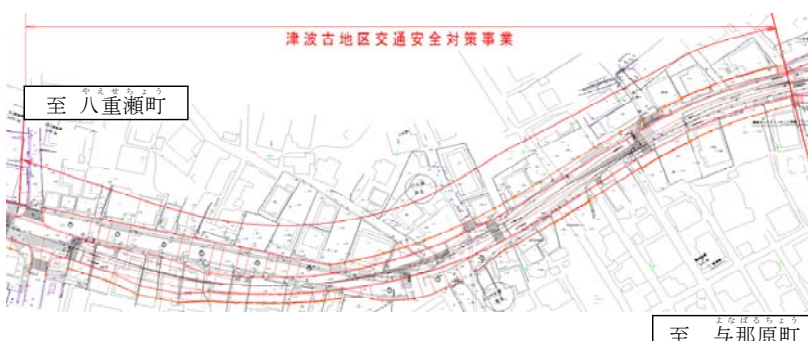
- ・設計、用地
- ・平成27年度共用予定



【平面図】



現況断面図



計画断面図

一般国道 331 号 津波古交差点改良

1. 概要

当該箇所は、国道 331 号に県道 137 号線が接続する Y 字交差点である。

当交差点は、与那原方面から八重瀬町 向け県道へ流入する導線が明確化されていないことと、線形不良により視認性が悪いことから交通事故の危険性が危惧されている交差点である。

本事業は、国道 331 号の道路の線形改良や車両停車帯の設置等を行い、バス昇降時の直進阻害、追突事故の防止、車両の通行をスムーズに行うため交差点改良を行うものである。

○事業箇所：沖縄県南城市佐敷津波古

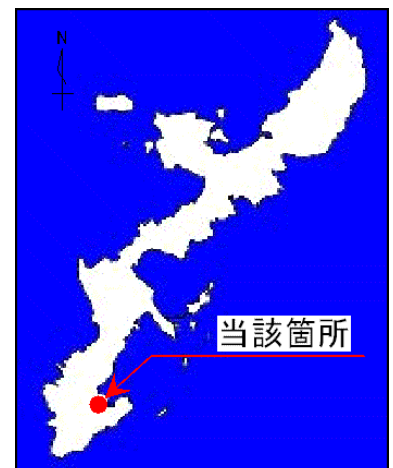
○箇所数：1 箇所

○H26 当初：1.4 億円

2. 平成 26 年度事業内容

- ・設計、工事
- ・平成 27 年度共用予定

【位置図】

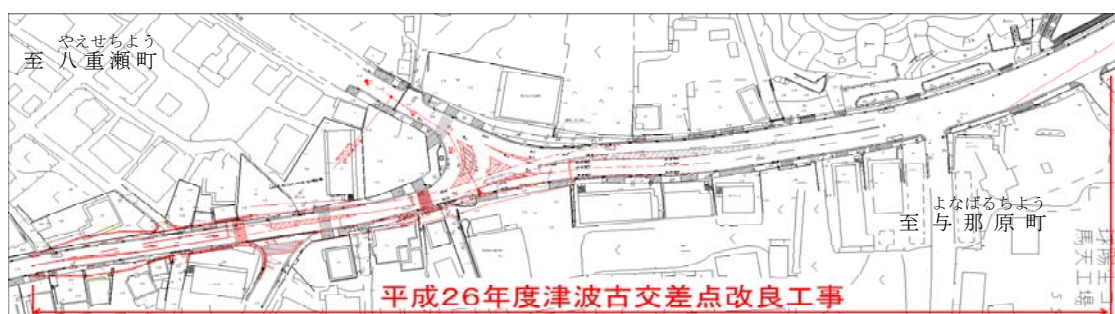


【平面図】

【現況】



【計画】



交通安全事業（二種事業）

1. 概 要

一般国道58号、329号、330号、331号、332号、506号の直轄管理の6路線において、道路照明灯、防護柵、道路標識、区画線、情報収集機器、情報提供機器、視線誘導標、情報ハイウェイの整備を行い、交通安全対策を実施しています。

2. 平成26年度事業内容

国道 58号：道路照明灯、防護柵、道路標識、区画線、視線誘導標、
情報収集機器、情報提供機器の整備

国道 329号：道路照明灯、防護柵、道路標識、区画線、視線誘導標、
情報収集機器、情報提供機器の整備

国道 330号：防護柵、道路標識、区画線、情報ハイウェイの整備

国道 331号：道路標識、区画線、情報収集機器の整備

国道 332号：区画線

国道 506号：区画線



道路照明灯



防護柵



道路標識



区画線



情報収集機器



情報提供機器

一般国道58号 ^{まえがねく} 前兼久地区電線共同溝

1. 概要

国道58号^{まえがねく}前兼久地区電線共同溝は、沖縄県西海岸のリゾートホテル、ビーチなどが集中している地域に位置する。本地区の電線共同溝の整備により観光地の景観の向上、安全で快適な歩行空間を確保するものである。

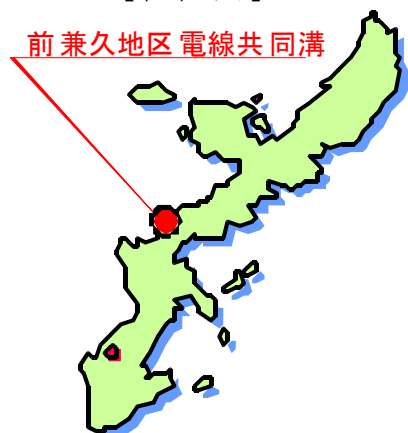
また、当該地区を含む国道58号は、防災上重要な第1次緊急輸送道路であり、電線共同溝の整備により災害時におけるライフライン及び緊急輸送路の安全性を確保し、防災機能の向上を図るものである。

- 事業区間：^{おきなわ} 沖縄県^{くにがみぐん} 国頭郡^{おんな} 恩納村^{そんたんちや} 谷茶～^{おんな} 恩納村^{そんまえがねく} 前兼久
- 延長：3.9km
- H26当初：6.8億円

2. 平成26年度事業内容

- ・工事
- ・平成26年度完成予定。

【位置図】

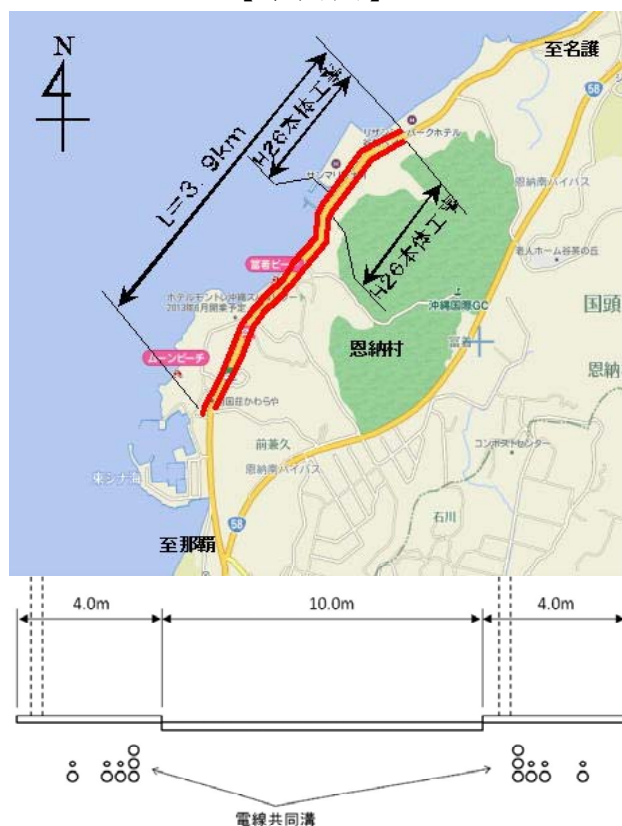


【現地状況】



【標準断面図】

【平面図】



一般国道329号 金武地区電線共同溝

1. 概 要

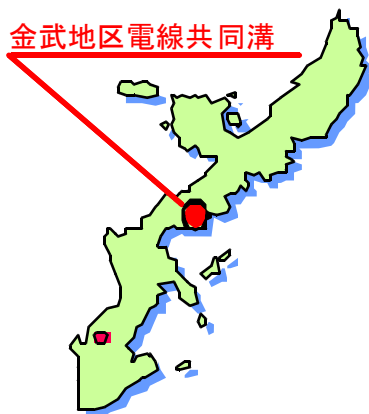
国道329号金武地区電線共同溝は、商業施設が立ち並ぶ金武町内の中心市街地に位置する。平成14年度の台風の際、電柱倒壊による車両損壊等の被害が発生した。自治体等の要望により電線共同溝を早期に整備し、台風・地震等災害時におけるライフライン及び緊急輸送路の安全性を確保するものである。

- 事業区間：沖縄県金武町金武地内
- 延長：1.7km
- H26当初：2.6億円

2. 平成26年度事業内容

- ・工事
- ・平成26年度完成予定

【位置図】



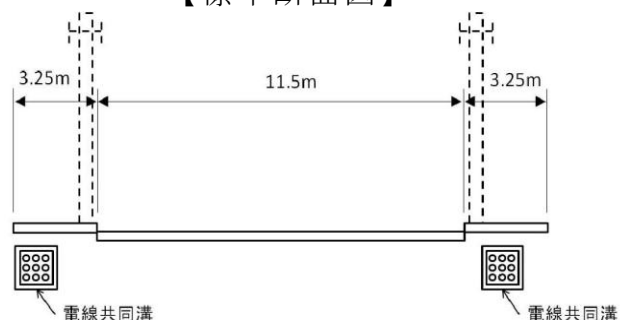
【平面図】



【現地状況】



【標準断面図】



電線共同溝事業 次期計画（H26～H30）

1. 概 要

無電柱化は、昭和 61 年度に電線類地中化計画としてスタートして、これまで 6 期に渡って計画が策定され、無電柱化を行う路線が決定されています。

また現在、平成 26 年度以降に無電柱化を行う路線を各自治体・道路管理者・電線管理者から挙げられた要望路線をもとに選定中であり、今後関係機関との協議会などの結果を踏まえ、次期無電柱化推進計画を策定します。

2. 事業の経緯

無電柱化事業の経緯

地中化計画期の名称	本資料での名称	事業年度	背美延長の実績 (予定を含む)
電線類地中化計画 (一期)	第 1 期計画	S61～H2	—
電線類地中化計画 (二期)	第 2 期計画	H3～H6	9. 270km
電線類地中化計画 (三期)	第 3 期計画	H7～H10	21. 980km
新電線類地中化計画	第 4 期計画	H11～H15	34. 780km
無電柱化推進計画	第 5 期計画	H16～H20	32. 601km
第6期無電柱化推進計画	第 6 期計画	H21～H25	38. 603km
次期無電柱化推進計画	第 7 期計画	H26～H30	現在策定中

維持作業

1. 概 要

一般国道58号、329号、330号、331号、332号、506号の直轄管理の6路線において、道路法に基づき、道路を常時良好な状態に保ち、一般の交通に支障を及ぼさない事を目的に巡回、清掃、除草、剪定作業を行うものである。

2. 平成26年度事業内容

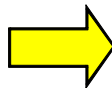
巡回：原則2日に1回実施。

自動車専用道路については、適切に回数を設定。

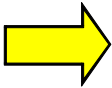
清掃：原則年1回、D I D地区は6回。

除草：次の場合に実施

- ①建築限界内の通行安全確保ができない場合。
- ②運転者から歩行者や交通安全施設等の視認性が確保できない場合



剪定：高木、中低木：原則3年に1回実施。成長の早い樹種は別途設定



一般国道58号 沖縄58号老朽化対策 (那覇市泊地区 橋梁補修)

1. 概要

一般国道58号は、国頭村奥を起点とし那覇市奥武山町に至る全長約123kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定されている。

○H 26 当初：2.00億円

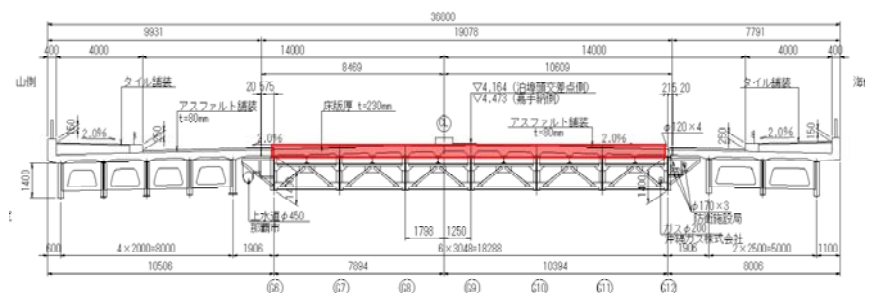
2. 平成26年度 事業内容

当初予算の充当により、定期点検等の結果、補修が必要と判断された泊高橋（那覇市泊地区）の床版架け替え工等を実施することで、安全・安心で信頼性の高い道路ネットワークの確保を図る。

【位置図】



【断面図】



全 景



損傷(鉄筋腐食)状況



一般国道506号 事前防災・減災対策 (池田高架橋 耐震補強)

1. 概要

一般国道506号は、沖縄県豊見城市名嘉地^{とみぐすく なかち}を起点とし沖縄県西原町池田^{にしはら いけだ}に至る全長約12kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定されている。

○H 2 5 繰 越 : C = 0.7 億円

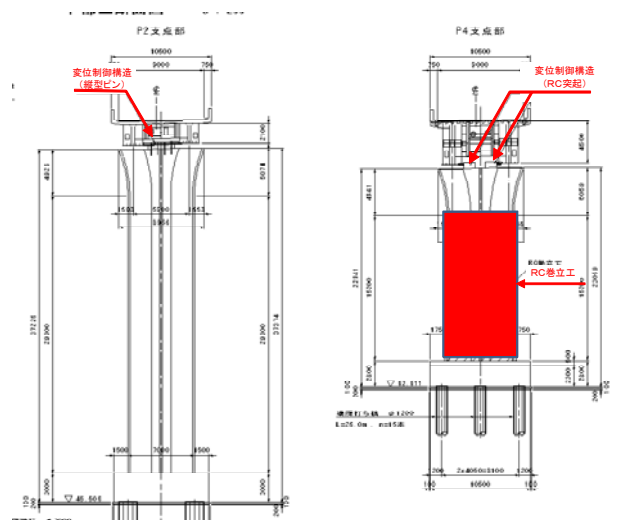
2. 平成26年度 事業内容

池田高架橋（西原町池田地区）において、橋脚巻き立て等の耐震補強を実施することで、災害発生時の安全性が向上し、円滑かつ迅速な応急活動のため、被災後の早期啓開・復旧が可能な道路ネットワークの形成が図られる。

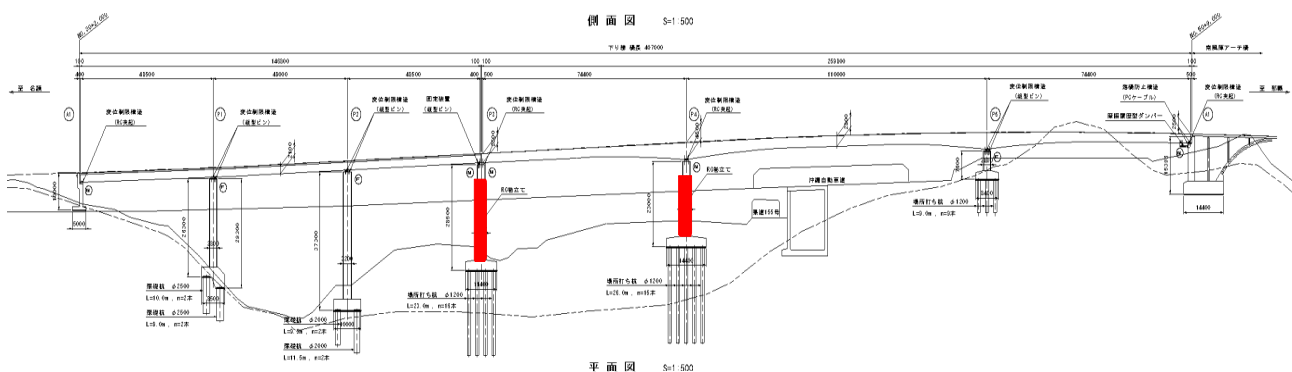
【位置図】



【断面図】



【側面図】



社会資本整備に関する工程表(沖縄総合事務局開発建設部)

①道路

区分	事業名	H25年度の成果等	H26年度の成果目標等	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31以降	備考
交通安全事業	一般国道58号 国道58号北部地区交通安全対策事業 (名護市港、恩納村仲泊)	—	・設計 ・工事		(事業中) 設計・工事 の推進						平成26年度完成予定
	一般国道58号 国道58号交通安全施設設置	・設計	・設計 ・工事		(事業中) 設計・工事の推進						平成27年度完成予定
	一般国道329号 奥間南交差点改良	・設計	・設計 ・用地買収		(事業中) 設計・用地・工事の推進						早期完成は目指すものの、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定。
	一般国道329号 第一小那覇車両停車帯設置	・設計 ・用地買収	・工事		(事業中) 設計・用地・工事の推進						平成26年度完成予定
	一般国道329号 当間原車両停車帯設置	—	・設計 ・用地買収		(事業中) 設計・用地・工事の推進						早期完成は目指すものの、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定。
	一般国道329号 上間交差点改良	—	・設計		(事業中) 設計・工事の推進						早期完成は目指すものの、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定。
	一般国道330号 石平交差点改良	・設計	・設計 ・工事		(事業中) 設計・工事の推進						平成27年度完成予定
	一般国道330号 我如古交差点改良	・設計 ・用地買収 ・工事	・設計 ・用地買収 ・工事		(事業中) 設計・用地・工事の推進						平成27年度完成予定
	一般国道331号 津波古地区安全対策(その2)事業	・設計 ・用地買収	・設計 ・用地買収		(事業中) 設計・用地・工事の推進						平成28年度完成予定
	一般国道331号 津波古地区安全対策事業	・設計 ・用地買収	・設計 ・用地買収		(事業中) 設計・用地・工事の推進						平成27年度完成予定

社会資本整備に関する工程表(沖縄総合事務局開発建設部)

①道路

区分	事業名	H25年度の成果等	H26年度の成果目標等	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31以降	備考
交通安全事業	一般国道331号 津波古交差点改良	・設計 ・工事	・設計 ・工事	(事業中) 設計・工事の推進							平成27年度完成予定
	二種事業	・設計 ・工事	・設計 ・工事	道路照明灯・防護柵・道路標識・区画線・情報収集機器・情報提供機器・視線誘導標・情報ハイウェイ							
電線共同溝事業	一般国道58号 前兼久地区電線共同溝	・工事	・工事	(事業中) 工事の推進							平成26年度完成予定
	一般国道329号 金武地区電線共同溝	・工事	・工事	(事業中) 工事の推進							平成26年度完成予定
	次期計画(H26～H30)	—	・設計	設計・工事の推進(第7期計画)							第7期計画策定中
維持修繕事業	維持作業	巡回、清掃、除草、剪定等作業	巡回、清掃、除草、剪定等作業	巡回、清掃、除草、剪定等作業							
	橋梁補修	・点検、診断、補修(7橋) ・橋梁の長寿命化計画更新(H25～29)	・点検、診断、補修(12橋) ・橋梁の長寿命化計画更新(H26～30)	定期点検、初期点検、診断、補修工事							平成26年4月現在277橋
	耐震補強	補強対策0橋	補強対策2橋	補強設計、工事							H8仕様書対応対象橋梁94橋・対策済み74橋(25年度末)

直轄ダムの管理

1. 概 要

沖縄本島における国直轄管理ダムは、北部 5 ダム（福地ダム、新川ダム、安波ダム、普久川ダム、辺野喜ダム）、漢那ダム、羽地ダム及び大保ダムの他、平成 26 年度から金武ダム（旧億首ダム）を供用開始したことで、現在 9 ダムを運用中である。主な目的は、洪水調節、下流河川の適正な流量の確保、都市用水及びかんがい用水の供給である。また、環境保全対策や水源地域ビジョンによる地域活性化などにも取り組んでいる。

○管理ダム：

福地ダム、新川ダム、安波ダム、
普久川ダム、辺野喜ダム、漢那ダム、
羽地ダム、大保ダム、金武ダム



2. 平成 26 年度の主な実施内容

○日常管理

- ・ダム堤体、貯水池、取水設備等の点検

○災害時対応

- ・出水時対応、地震時臨時点検等

○ダム管理フォローアップ委員会

- ・福地ダム・新川ダム・大保ダムに係る管理状況の定期報告

◆日常点検（貯水地点検）



◆災害時対応（施設点検）



◆日常点検（堤体及び監査廊）



◆地元との協働（水源地域ビジョン）



ダムの耐震性能確認

1. 概 要

国直轄管理ダムにおいて、ダム地点ごとに個別にレベル2地震動（現在から将来にわたって考えられる最大級の強さを持つ地震動）を設定した上で、そのレベル2地震動に対し、ダム本体及び関連構造物等において所要の耐震性能が確保されていることを確認するものである。

○確認対象ダム

福地ダム、新川ダム、安波ダム、
普久川ダム、辺野喜ダム、漢那ダム、
羽地ダム、大保ダム、金武ダム



2. 平成26年度までの耐震性能確認状況

○安波ダム、辺野喜ダム、羽地ダム

- ・平成24年度に上記3ダムの堤体及び放流設備等関連施設について「ダムの貯水機能を維持する」等の耐震性能を確認済み。

○普久川ダム・漢那ダム

- ・平成25年度に上記2ダムの堤体及び放流設備等関連施設について「ダムの貯水機能を維持する」等の耐震性能を確認済み。

○新川ダム

- ・平成26年度に耐震性能を確認。

3. 平成27年度以降

- 福地ダム・大保ダム・金武ダムの耐震性能を確認予定。

ダムの長寿命化計画

1. 概 要

ダムの長寿命化計画は、ダムを構成するダム土木構造物等、機械設備、電気通信設備について、長期的視点を踏まえた維持管理及び設備の更新等をより効果的・効率的に推進していくために、点検結果や健全度の評価等を踏まえて中長期的な維持管理方針として策定するものである。

○計画策定対象ダム

福地ダム、新川ダム、安波ダム、
普久川ダム、辺野喜ダム、漢那ダム、
羽地ダム、大保ダム、金武ダム

2. 平成26年度の計画策定状況

○福地ダム、新川ダム、辺野喜ダム、
漢那ダム、羽地ダム、大保ダム、
金武ダムについて策定。

3. 平成27年度以降

○安波ダム、普久川ダムについて策定予定。



【主な点検対象設備等】



ダム堤体



水力発電設備



管理用制御処理設備



取水管

ダム施設・流域の利活用

1. 概要

直轄多目的10ダムの完成となる一連の節目において、北部ダム湖サミットが開催され、県民全体で森や水を守り、森や水の大切さを認識し、北部地域の連携、中南部地域との連携を促進することが宣言されました。これを受け沖縄総合事務局は今後も北部地域と連携し、ダムツーリズム等を通して水源地域を広く県内外に認識させ、水源地域の活性化を図る支援を行っています。

2. 平成26年度の主な実施内容

○水源地及びその周辺環境を活用した北部地域の取り組みを支援していく。

- ・ 北部間連携促進。
- ・ ダム施設の開放・多様なメニューの検討。
- ・ 国機関の活用による情報発信。(道の駅、海洋博公園での情報発信)
- ・ 関係機関との意見交換会等の場を企画。(架け橋)



北部ダム湖サミット実施状況

沖縄北部ダム湖サミット宣言

私たちは、沖縄北部ダム湖サミットにおいて、やんばるの自然と水の大切さを念頭に、以下のとおり理念や方針を共有し、具体的な行動の第一歩とする。

- ー やんばるの貴重な自然は沖縄の宝であり、本島における貴重な水源地でもあることから、県民全体で森を守り、水を守ることが重要。
- ー 水源地やんばるの自然やダム湖の魅力を活かした活動を通じて、森や水の大切さを広く認識してもらえるように努力。
- ー ダムの存在する北部地域の連携のみならず、中南部地域との交流・連携を促進。

平成26年2月22日
沖縄北部ダム湖サミット参加者一同



ダム湖や周辺環境の魅力を活用した地域の取り組み

②ダム

区分	事業名	H25年度の成果等	H26年度の成果目標等	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31以降	備考
ダム管理	直轄ダムの管理	・フォローアップ委員会(羽地ダム定期報告) ・日常点検(ダム堤体及び監査廊、貯水池、取水設備等の点検) ・災害時対応(風水害、地震等)	・フォローアップ委員会(福地ダム・新川ダム・大保ダム定期報告) ・日常点検(ダム堤体及び監査廊、貯水池、取水設備等の点検) ・災害時対応(風水害、地震等)	直轄ダム管理						・H27年度予定:安波ダム・普久川ダム・辺野喜ダム定期報告 ・H28年度予定:漢那ダム定期報告 ・H29年度予定:金武ダム定期報告 ・H30年度予定:羽地ダム定期報告	
	ダムの耐震性能確認	・耐震性能(L2)確認済み(普久川ダム、漢那ダム)	・耐震性能(L2)確認実施(新川ダム)	耐震性能の確認						・H24年度確認済み(安波ダム、辺野喜ダム、羽地ダム) ・H27年度実施予定(福地ダム、大保ダム、金武ダム)	
	ダムの長寿命化計画	・基礎調査	・長寿命化計画策定(福地ダム・新川ダム・辺野喜ダム・漢那ダム・羽地ダム・大保ダム・金武ダム)	調査・計画策定(7ダム)						・H27年度策定予定(安波ダム・普久川ダム)	
	長寿命化計画に基づく補修等実施										
	調査・計画策定(2ダム)										
高度利用	ダム施設・流域の利活用	・北部ダムサミットの開催	○水源地及びその周辺環境を活用した北部地域の取り組みを支援していく。 ・北部間の連携促進。 ・ダム施設の開放・多様なメニューの検討。 国機関の活用による情報発信。 (道の駅・海洋博) ・関係機関との意見交換会等の場を企画。 (架け橋)	北部市町村との調整						北部間の連携促進や国機関を活用した情報発信等の支援	

おきなわにし
沖縄西海岸道路 一般国道58号 那覇北道路
なはしんこう 那覇新港ふ頭地区 臨港道路 若狭港町線
なはきた わかさみなとまち

1. 概要

本道路は、那覇都市圏の環状道路を形成し、一般国道58号の那覇市街部及び周辺部の交通混雑の緩和を図るとともに、那覇港・那覇空港へのアクセス性向上による物流の効率化、観光振興を支援することを目的とする道路。

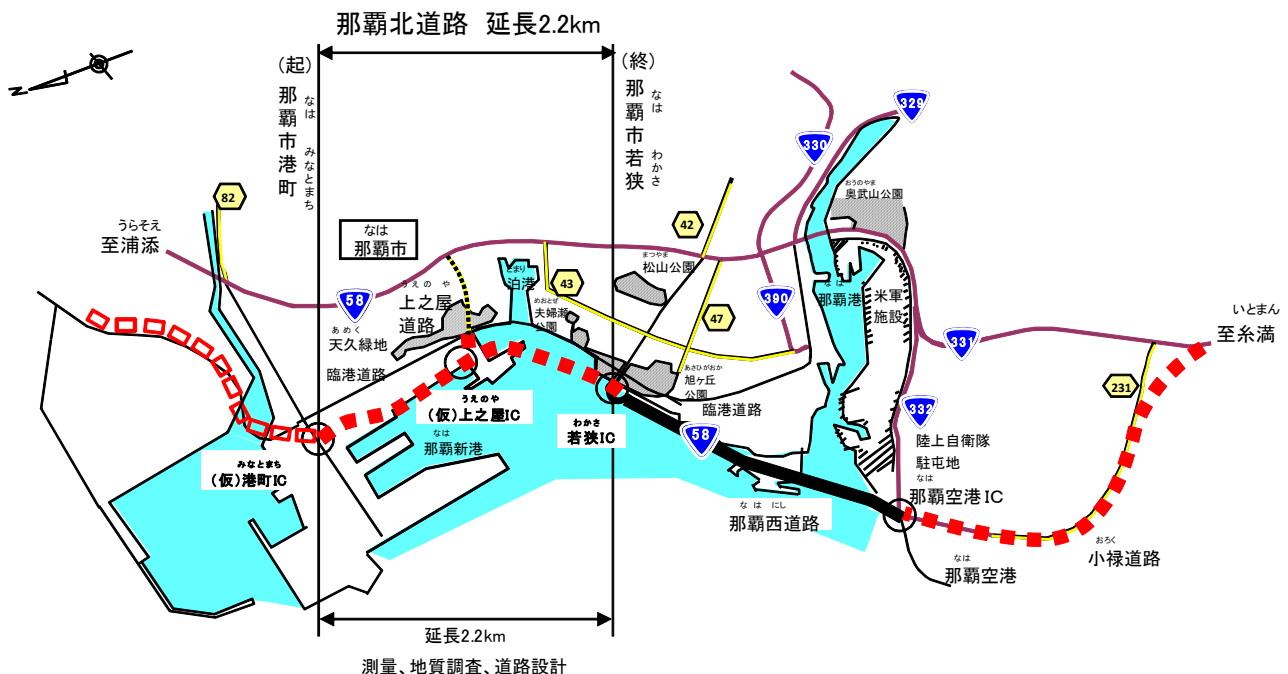
- 事業区間：沖縄県那覇市港町～那覇市若狭
- 延長：2.2km
- H26当初：1.0億円



2. 平成26年度事業内容

- 那覇市港町～那覇市若狭(延長2.2km)
 - ・測量、地質調査、道路設計
 - ・平成26年度事業化

(全体用地進捗率： 0%)
[平成26年3月末現在]



那覇港浦添ふ頭地区臨港道路（浦添線）整備事業

1. 概要

沖縄本島の物流拠点である那覇港から本島中北部方面への物流は、浦添ふ頭以北の臨港道路が未整備であるため、慢性的な交通渋滞が続いている市街地を経由し、輸送することを余儀なくされています。

那覇港から中北部方面への臨港交通機能を強化し、港湾物流の円滑化を図るため、臨港道路（浦添線）の整備を行います。

- 事業箇所：那覇港浦添地区
- 施設：臨港道路
- H26当初：18.5億円



2. 平成26年度実業内容

橋梁の上部工、埋立部舗装工



那覇港泊ふ頭地区旅客船ターミナル整備事業

1. 概要

那覇港には、外航クルーズ船により多くの外国人観光客が訪れています。

観光立県沖縄としての海の玄関口にふさわしい旅客船ターミナルを耐震強化岸壁として一体的に整備することにより国際交流拠点を形成するとともに、防災拠点の整備を行っています。

なお、平成 21 年 9 月より暫定供用を開始しており、多くのクルーズ船が利用しています。(平成 25 年の寄港実績 56 回、平成 26 年の寄港予定 95 回)

- 事業箇所：那覇港泊地区
- 施設：岸壁、道路
- H 2 6 当初：5. 3 億円



2. 平成 2 6 年度事業内容

船を係留する岸壁の整備。

整備中の臨港道路若狭 2 号線については平成 2 6 年夏に供用予定。



中城湾港新港地区国際物流ターミナル整備事業

1. 概 要

中城湾港新港地区は、沖縄県における物資の円滑な流通を確保するとともに産業の振興、雇用機会の創出、産業構造の改善並びに県土の均衡ある発展に資するため、流通機能及び生産機能を併せ持った流通加工港湾として整備を進めています。

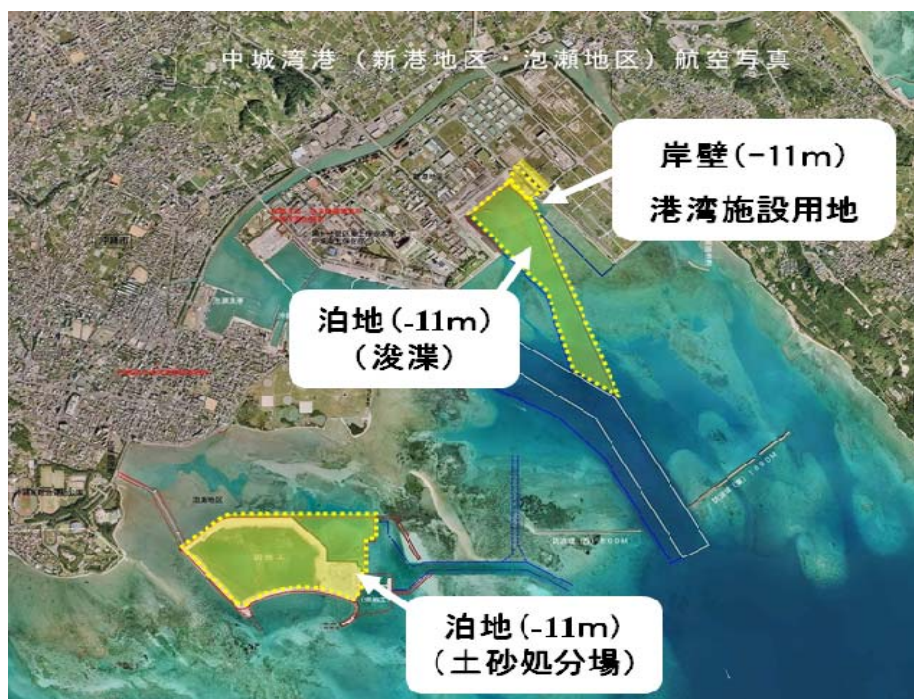
新港地区立地企業の物流効率化を図り、企業の進出を促進する観点から、コンテナ貨物を対象とした国際物流ターミナルとして、岸壁(-11m)及び泊地(-11m)等の整備を行っています。

- 事業箇所：中城湾港新港地区
- 施設：泊地、岸壁
- H26当初：4.7億円



2. 平成26年度事業内容

船が入出港する際に方向転換等をするための水域となる泊地(-11m)の整備

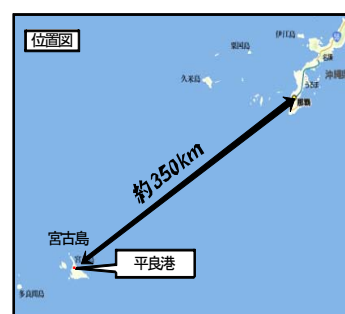


平良港漲水地区複合一貫輸送ターミナル改良事業

1. 概要

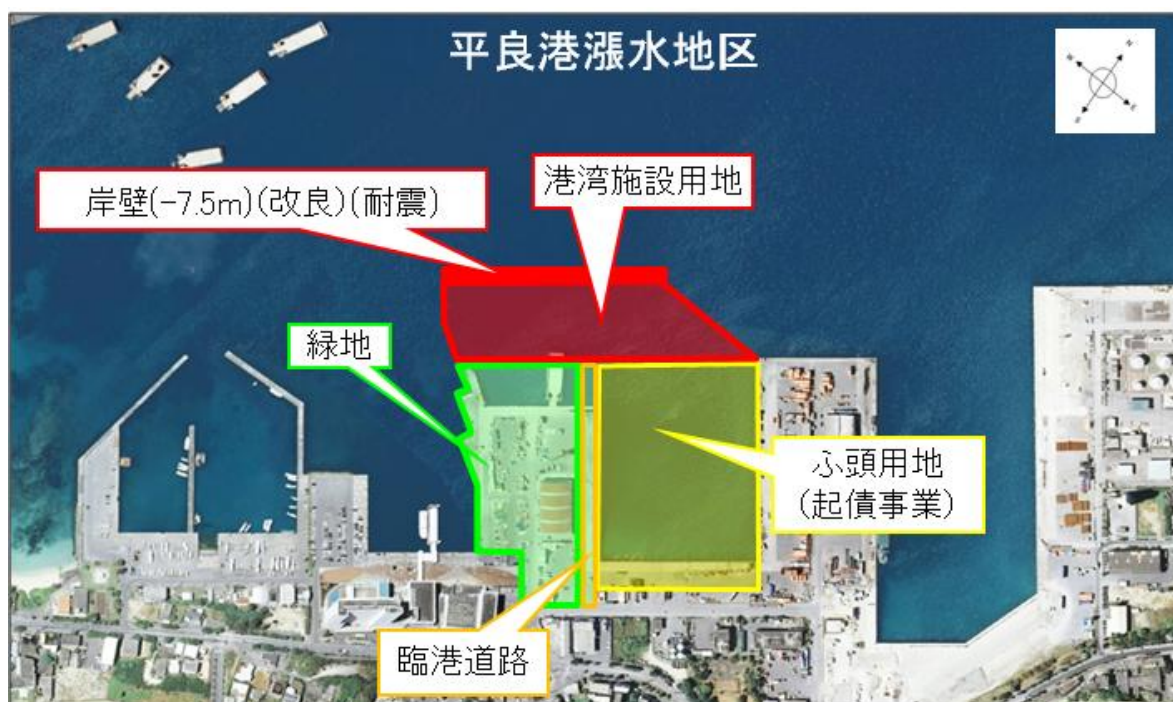
平良港は、沖縄本島と宮古圏域を結ぶライフラインの確保、広域的な経済活動の維持といった離島地域特有の課題解消を図る上で重要な海上輸送拠点となっています。宮古圏域の安定的な海上輸送の確保及び非効率な荷役形態の改善、大規模地震時の物資輸送に対応するため、平成24年度より複合一貫輸送ターミナル耐震改良整備を行っています。

- 事業箇所：平良港漲水地区
- 施設：岸壁、港湾施設用地
- H26当初：10.5億円



2. 平成26年度事業内容

船を係留する岸壁及び物流・人流の活動を支援する港湾施設用地の整備



石垣港新港地区旅客船ターミナル整備事業

1. 概 要

石垣港は、国内外から大型旅客船が寄港し、石垣市をはじめとする八重山地域の観光産業に大きく貢献しています(平成 25 年の寄港実績 65 回、平成 26 年の寄港予定 67 回)。

旅客船ターミナルを整備することにより、安全・安心及び効率性を確保しつつ、国際交流拠点としての港湾整備を行っています。

- 事業区間：石垣港新港地区
- 施設：岸壁、防波堤
- H 2 6 当初：4. 9 億円



2. 平成 2 6 年度事業内容

船を係留する岸壁の整備



竹富南航路整備事業

1. 概 要

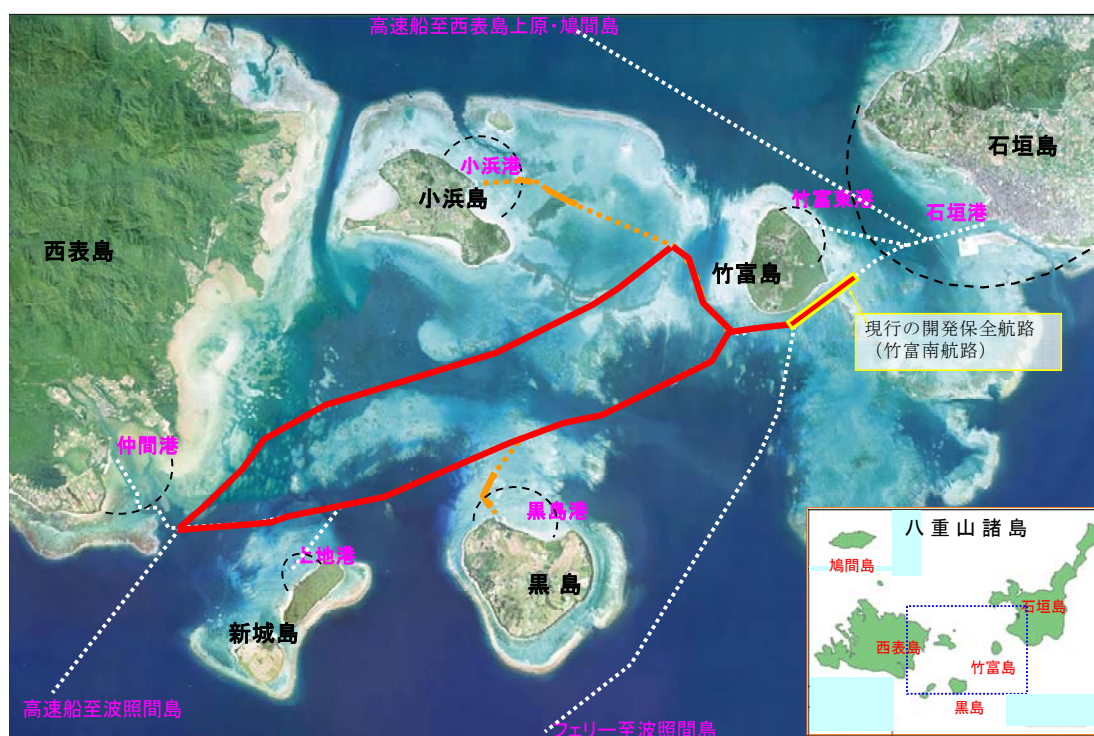
八重山圏域における拠点港である石垣島と周辺離島を結ぶ唯一の海上交通路である竹富南航路は、地域住民や来訪者が日常的に利用する航路です。

平成 23 年度より現行の竹富南航路(開発保全航路)の指定範囲の追加・拡張及び航路の整備を行っています。

- 事業区間：竹富南航路
- 施設：航路
- H 2 6 当初：5. 2 億円

2. 平成 2 6 年度事業内容

船が港間を行来する航路の整備



社会資本整備に関する工程表(沖縄総合事務局開発建設部)

③港湾

区分	事業名	H25年度の成果等	H26年度の成果目標等	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31以降	備考
那覇港	【再掲】 一般国道58号那覇北道路 L=2.2km 那覇港新港ふ頭地区臨港道路 若狭港町線 (那覇市港町～那覇市若狭)	—	・平成26年度事業化 ・測量、地質調査、道路設計		(事業中) 設計・用地・工事の推進						
	那覇港浦添ふ頭地区臨港道路(浦添線)整備事業 (那覇港浦添ふ頭地区)	・橋梁下部工 ・橋梁上部工	・橋梁上部工 ・埋立部舗装工	(事業中)	工事推進						平成20年代後半完成予定 ※完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定
	那覇港泊ふ頭地区旅客船ターミナル整備事業 臨港道路若狭2号線 岸壁(-9m) L=340m (那覇港泊ふ頭地区)	・道路上部工、橋面工促進	・道路上部工、橋梁付属物工促進	道路(事業中)工事推進							平成21年9月より暫定供用開始 平成26年夏頃 臨港道路若狭2号線供用開始 平成28年度完成予定
		・岸壁地盤改良工促進	・岸壁ジャケット製作・据付	岸壁(事業中)	工事推進						
中城湾港	中城湾港新港地区国際物流ターミナル整備事業 岸壁(-11m) L=190m、泊地(-11m) (中城湾港新港地区)	・泊地浚渫工促進	・泊地浚渫工促進	(事業中)	工事推進						平成28年度完成予定 1年程度の前倒しの可能性を検討
平良港	平良港漲水地区複合一貫輸送ターミナル整備事業 岸壁(-7.5m)(改良)(耐震) L=220m、港湾施設用地 (平良港漲水地区)	・岸壁のケーソン据付 ・港湾施設用地の設計	・岸壁のケーソン製作・据付 ・港湾施設用地のケーソン製作・据付	(事業中)	工事推進						平成28年度完成予定
石垣港	石垣港新港地区旅客船ターミナル整備事業 岸壁(-9m) L=240m (石垣港新港地区)	・岸壁ケーソン製作 ・防波堤ケーソン据付	・岸壁ケーソン製作・据付	(事業中)	工事推進						平成28年度完成予定
竹富南航路	竹富南航路整備事業 保全航路(-3～-4m) (竹富南航路竹富地区)	・保全航路浚渫工促進	・保全航路浚渫工促進	(事業中)	工事推進						平成20年代後半完成予定 ※完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定

那覇空港滑走路増設事業

1. 概要

本事業は、将来の需要に適切に対応するとともに、沖縄県の継続的振興発展に寄与するため、また、将来にわたり国内外航空ネットワークにおける拠点性を発揮するよう那覇空港の沖合に2本目の滑走路新設を行う。

なお、事業実施にあたっては、施工の早期推進のため、工区を6つに分けて施工を進めることとしている。



○ H 2 6 当初：3 4 3 億円

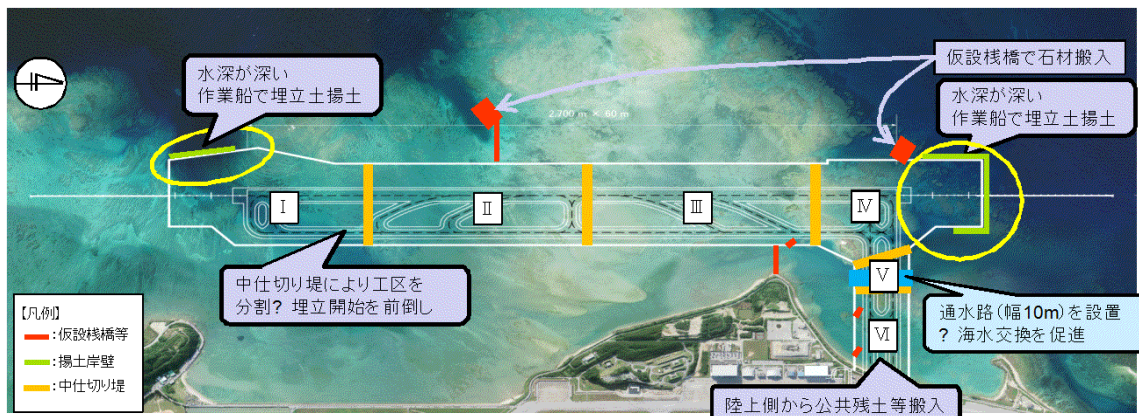
2. 平成26年度事業内容

○ I・II・III・IV・VI工区の護岸整備



(参考) 整備スケジュール

	H25d	H26d	H27d	H28d	H29d	H30d	H31d
護岸工事	● 締切完了		● VI	● III, IV	● II	● V	
埋立工事	● 埋立開始		● VI	● IV	● III	● I, II, V	
舗装工事							
進入灯工事等 (空港施設工)							



社会資本整備に関する工程表(沖縄総合事務局開発建設部)

④空港

区分	事業名	H25年度の成果等	H26年度の成果目標等	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31以降	備考				
那覇空港	那覇空港滑走路増設事業	・環境影響評価・公有水面埋立手続き等終了 ・現地着手済み	・護岸工事の促進	(Ⅰ工区)	護岸工事						H31/12工事完了予定 H31年度末供用開始予定 事業進捗のため、全体を6工区に分割して工事を実施 (護岸が概成した工区から順次埋立を開始) また、環境影響評価(環境アセス)に基づく環境保全措置として、サンゴ類の移植等を実施。				
								埋立工事							
				(Ⅱ工区)	仮設棧橋	護岸工事						埋立工事			
				(Ⅲ工区)	仮設棧橋	護岸工事							埋立工事		
				(Ⅳ工区)	仮設棧橋	護岸工事							埋立工事		
				(Ⅴ工区)				護岸工事					埋立工事		
				(Ⅵ工区)	仮設棧橋	護岸工事						埋立工事			
				(全体)				舗装工事					進入灯工事等(空港施設工)		

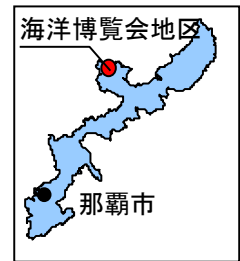
国営沖縄記念公園
〔海洋博覧会地区〕

1. 概 要

海洋博覧会地区は、昭和５０年に開催された沖縄国際海洋博覧会を記念する公園として閣議決定された「沖縄県国頭郡本部町において開催される沖縄国際海洋博覧会の会場（面積約１００ヘクタール）の跡地に沖縄国際海洋博覧会記念公園（仮称）を設置し、国により整備する。」を受けて、整備を進めているものである。

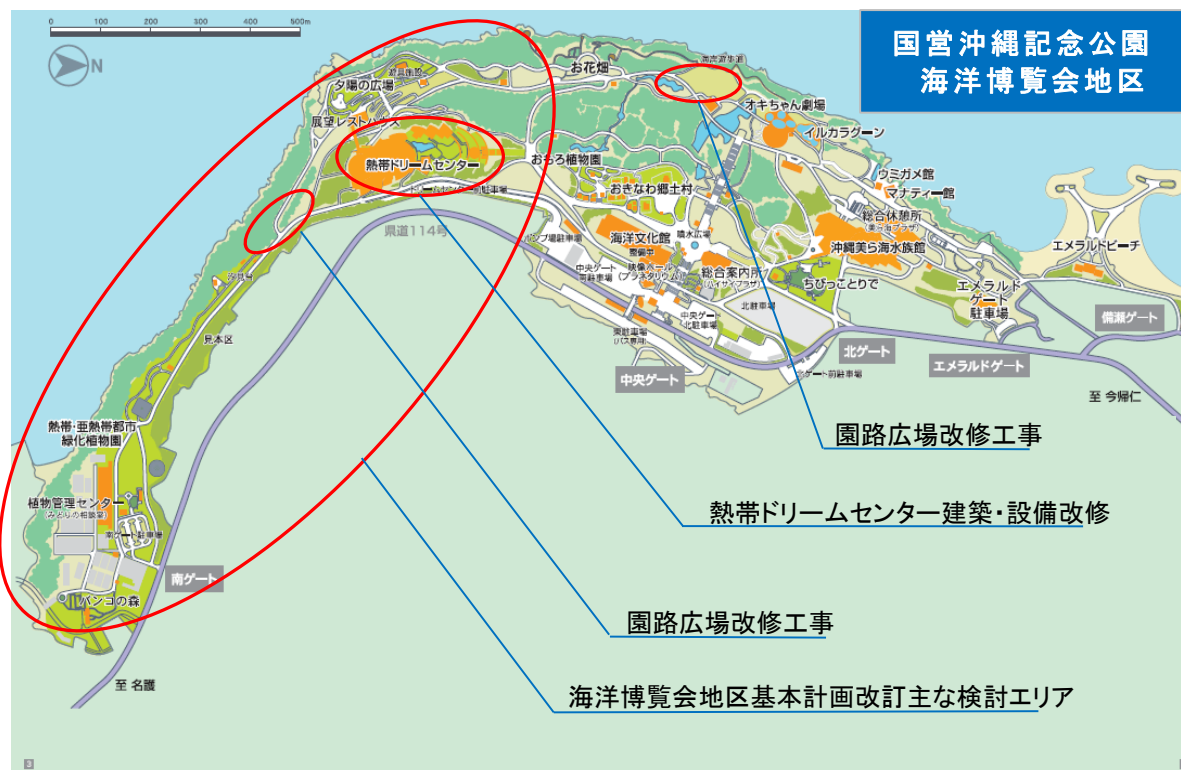
当該地区においては、平成14年度に開園した「美ら海水族館」をはじめとし、様々な施設があり、沖縄県の観光拠点の1つとして大きな役割を担っている。

- 事業箇所：沖縄県国頭郡本部町
○供用／計画面積：71.8(ha)／77.2(ha)
○H26当初予算：(首里城地区含む工事関係費)
公園整備：約1,768百万円
公園維持管理：約1,317百万円



2. 平成26年度事業内容

- 国営公園の運営維持管理
- 海洋博覧会地区基本計画改訂検討
- 熱帯ドリームセンター建築・設備改修、園路広場改修工事、老朽化施設・設備更新
- 平成26年度 新規開園予定無し



○ :平成26年度整備・検討箇所

国営沖縄記念公園

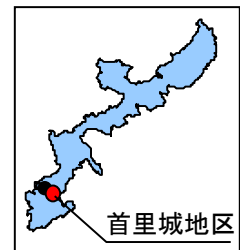
〔首里城地区〕

1. 概要

首里城地区は、首里城正殿等を沖縄の復帰記念事業として、「貴重な国民文化遺産の回復」「新たな県民文化の創出」「伝統技術の継承と発展」「歴史的風土探訪の場の形成」を目的に復元、整備するものである。

当該地区については、平成4年度に正殿を復元し現在も引き続き復元整備を進めている。

- 事業箇所：沖縄県那覇市
- 供用／計画面積：2.9(ha) ／ 4.7(ha)
- H26当初予算：(海洋博地区含む工事関係費)
 - 公園整備：約 1,768 百万円
 - 公園維持管理：約 1,317 百万円



2. 平成26年度事業内容

- 国営公園の運営維持管理
- 御内原地区 基盤整備、建築工事（女官居室、世誇殿）
- 北城郭地区 復元整備（石積、石牆、石畳）
- 廣福門漆塗装塗り替え 等
- 平成26年度 新規開園予定無し



○ : 平成26年度整備箇所

社会資本整備に関する工程表（沖縄総合事務局開発建設部）

⑤公園

区分	事業名	H25年度の成果等	H26年度の成果目標等	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31以降	備考
沖縄記念公園	海洋博覧会地区 計画面積77.2ha 供用面積71.8ha	○平成25年度の入園者数は643万人（海洋博＋首里城）と過去最高を記録。 ○海洋博地区の入園者数は408万人、初めて400万人を突破。 ○海洋文化館展示ホール改修 プレオープン（夏休み期間）、グランドオープン（10月）	・公園の適切な運営維持管理の実施 ・海洋博公園基本計画の改訂検討の実施 ・熱帯ドリームセンター建築・設備改修の実施 ・園路広場工事の実施 ・老朽化施設・設備更新工事の実施	海洋文化館 展示ホール改修	海洋博公園基本計画の改訂 基本計画に基づいた施設整備を推進 基本設計(熱帯・亜熱帯環境ゾーン)						S51.8国営沖縄海洋博覧会記念公園開園 エメラルドビーチ、海洋文化館、オキちゃん劇場、夕日の広場開設 S54.4ちびっことりで開設 S55.4おきなわ郷土村開設 S61.2熱帯ドリームセンター開設 H210熱帯・亜熱帯都市緑化植物園開設 H6.4マナティエー館、ウミガメ館開設 H10.3イルカガーデン開設 H14.11沖縄美ら海水族館開設 H20.2ちびっことりで改修 H22.4オキちゃん劇場改修 H24.3美ら海プラザ開設 H25.10海洋文化館展示ホールグランドオープン
	首里城地区 計画面積4.7ha 供用面積2.9ha	○平成25年度の首里城地区入園者数は235万人。 ○黄金御殿・寄満・近習詰所、奥書院の復元供用（1月）、奥書院庭園完成（3月）	・公園の適切な運営維持管理の実施 ・御内原地区復元整備の実施 ・北城郭地区復元整備の実施 ・廣福門漆塗装塗り替え工事の実施	（御内原地区復元整備） 黄金御殿 寄満・近習詰所 奥書院復元整備	女官居室・世誇殿復元整備	金蔵周辺 復元整備	（北城郭地区復元整備） 北城郭西側エリア復元整備	北城郭東側エリア復元整備	（南城郭地区復元整備） 南城郭西側エリア 復元整備	南城郭東側エリア復元整備	H4.11首里城公園開園 正殿の復元 H15.10京の内復元 H19.1書院・鎮之間復元 H20.8書院・鎮之間庭園復元 H26.1黄金御殿・寄満・近習詰所、奥書院復元 H26.3奥書院庭園復元
				（調査・設計等）	発掘調査及び資料整理、施設設計						

那覇第1地方合同庁舎 施設設備計画

1. 概 要

那覇第1地方合同庁舎は那覇地方法務局や沖縄气象台など国の11官署が入居している地方合同庁舎で昭和61年に完成後、約30年が経過している。

本整備事業は、劣化が著しい空気調和設備を改修し、職員の執務環境を改善するとともに、効率の良い機器へ更新することで環境負荷の低減(省エネルギー)を図るものである。

○所 在 地:那覇市樋川1丁目15番15号

○敷地面積:約18,000㎡



2. 平成26年度事業内容

○庁舎 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上8階地下1階 延べ面積 約20,000㎡

- ・空気調和設備 改修設計
- ・空気調和設備 改修工事
- ・平成27年度 完成予定



石垣地方合同庁舎 施設設備計画

1. 概 要

石垣地方合同庁舎は那覇地方法務局石垣支局や八重山公共職業安定所など8官署が入居している石垣島唯一の地方合同庁舎である。

昭和53年に完成後、35年以上が経過しており、給排水設備の経年による劣化が進行している状況である。

本整備事業は、劣化が著しい便所廻りの配管及び器具を改修するとともに既存身障便所を多機能便所に改修し機能向上させることで来庁者へのサービス向上を図るものである。

○所 在 地: 石垣市登野城55番地4

○敷地面積: 約3,800㎡



2. 平成26年度事業内容

○庁舎 鉄筋コンクリート造 地上3階 延べ面積約2,500㎡

- ・給水・排水設備、衛生器具設備、身障便所 改修工事
- ・平成26年度 完成予定



石垣海上保安部 施設設備計画

1. 概 要

石垣海上保安部は、領海警備、海上災害の防止、海洋汚染、密航、遠洋操業外国漁船などの監視取り締まり、海上交通の安全確保などの業務を実施しており、今後、より迅速かつ的確に業務を実施するために巡視船の追加配備が決定している。

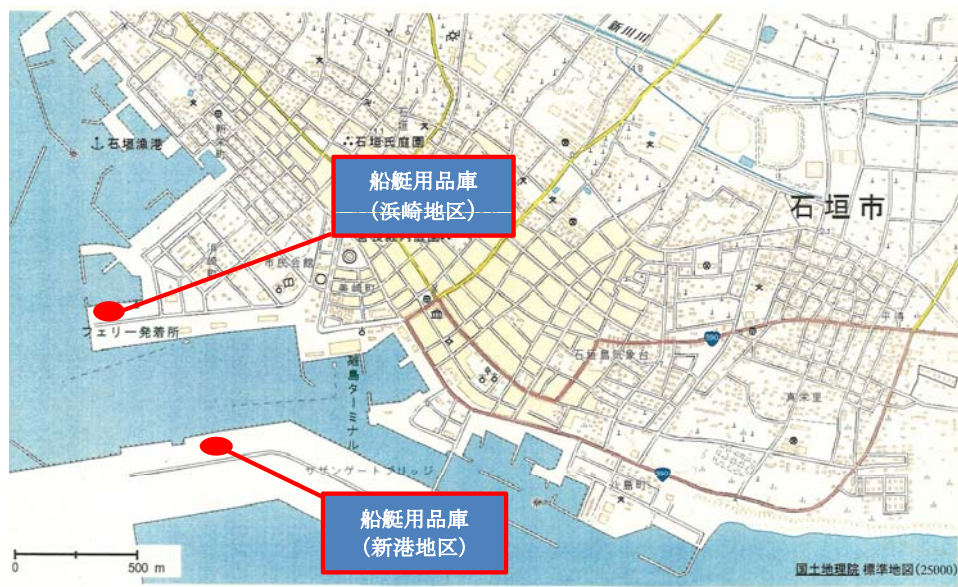
本整備事業は、追加配備される巡視船の業務用品等を保管する船艇用品庫の整備を図るものである

- 船艇用品庫(新港地区)
 - ・所在地:石垣市南ぬ浜町^{バイヌハマチヨウ}
 - ・敷地面積:約2,200㎡
- 船艇用品庫(浜崎地区)
 - ・所在地:石垣市浜崎町
 - ・敷地面積:約800㎡



2. 平成26年度事業内容

- 船艇用品庫(新港地区)
 - ・敷地調査
 - ・鉄骨造2階建 延べ面積 約1,000㎡ 設計及び工事
 - ・平成26年度完成予定
- 船艇用品庫(浜崎地区)
 - ・敷地調査
 - ・鉄骨造3階建 延べ面積 約1,300㎡ 設計



那覇地方・家庭裁判所石垣支部 石垣簡易裁判所

施設整備計画

1. 概 要

那覇地方・家庭裁判所石垣支部及び石垣簡易裁判所は昭和39年に完成後、約50年が経過している。その間、庁舎の狭あい化に伴い、昭和53年に庁舎を一部増築している。

本整備事業は、経年による庁舎の老朽化や狭あいの解消及び耐震性を確保するため、将来の庁舎建替え計画の前段階として仮庁舎を整備するものである。

○所在地:石垣市登野城55番地2

○敷地面積:約2,600m²



2. 平成26年度事業内容

○仮庁舎 プレハブ造 地上2階建 延べ面積 約700m² 工事

○平成26年度 完成予定



沖縄県警察学校 施設設備計画

1. 概 要

沖縄県警察学校は、新規採用された警察官のための教育施設であり昭和45年に供用を開始し、必要な建物を随時整備してきた。

昭和45年に完成した武道場及び厚生棟は屋根防水の経年劣化が著しく、漏水が発生し、授業や職員の業務に支障が発生しているため、その改修を行うものである。

○所 在 地:うるま市石川3402番地

○敷地面積:約33, 000m²



2. 平成26年度事業内容

○武道場 鉄筋コンクリー平屋建 延べ面積 約 500m²

○本 館 鉄筋コンクリート造2階建 延べ面積 約4, 000m²

- ・屋上防水 改修設計
- ・屋上防水 改修工事
- ・平成26年度 完成予定



社会資本整備に関する工程表(沖縄総合事務局開発建設部)

⑥ 営繕

区分	事業名	H25年度の成果等	H26年度の成果目標等	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31以降	備考
営繕 発注 事業	那覇第1地方合同庁舎施設改修整備	—	・空調設備改修設計 ・空調設備改修工事		設計・工事推進						工事内容 ・庁舎 SRC-8-1 約20,000㎡ 空調設備改修一式
	石垣地方合同庁舎施設改修整備	・給水・排水設備、衛生設備改修設計	・給水・排水設備、衛生設備改修工事		設計・工事推進						工事内容 ・庁舎 RC-3 約2,500㎡ 排水設備、衛生器具、便所回り内装改修一式
	石垣海上保安部施設整備 (支出委任)	—	・敷地調査 ・船艇用品庫(新港地区・浜崎地区)設計 ・船艇用品庫(新港地区)工事		敷地調査・設計・工事推進						工事内容 ・船艇用品庫(新港地区) S-2 約9,00㎡ 新築
	那覇地方・家庭裁判所石垣支部 石垣簡易裁判所施設整備 (支出委任)	・敷地調査	・仮庁舎工事 ・新庁舎設計		敷地調査・ 仮庁舎設計・工事推進						・敷地調査完了(H25) ・仮庁舎設計業務完了(H26.4) 工事内容 ・仮庁舎 プレハブ 約700㎡ 新築
	沖縄県警察学校施設改修整備 (支出委任)	—	・建築改修設計 ・建築改修工事		敷地調査・設計 設計・工事推進						工事内容 ・武道場 RC-1 約500㎡ 屋上防水改修一式 ・本 館 RC-2 約4,000㎡ 屋上防水改修一式

支出委任:各省庁に計上された予算を沖縄総合事務局が支出の委任を受けて施設の整備を実施するものです。

沖縄防災連絡会

1. 概要

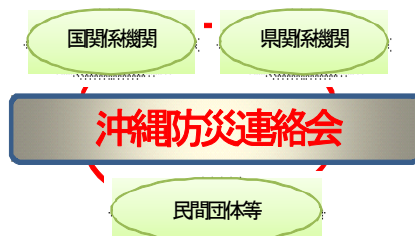
沖縄地域において大規模な地震・津波災害が発生したとき、迅速且つ的確な社会・産業基盤の応急復旧や必要な諸資源の確保等について、予め、関係行政機関、民間団体等が相互に協力・連携して対応策の検討を進めるため、沖縄総合事務局の呼びかけで、「沖縄防災連絡会」を平成24年11月12日設立。

【構成】

- ・30機関＋3機関(オブザーバー)で構成

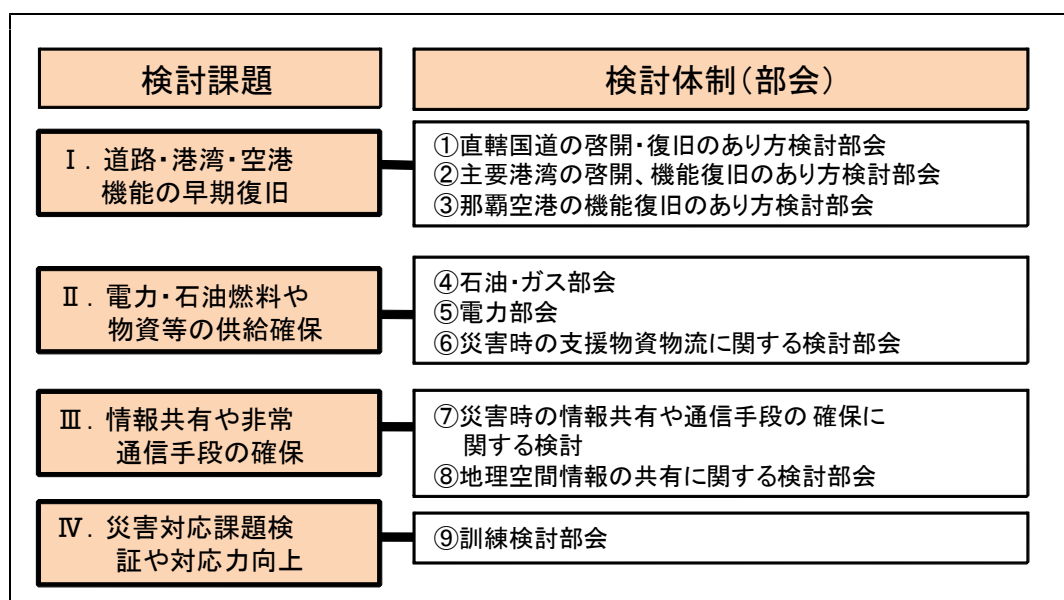
【活動内容】

- ・災害対策に関する情報、取組施策等の共有
- ・災害対応施策の調整、連携
- ・道路、港湾、空港啓開の在り方、情報通信機能や運輸・物流体制等の社会・産業基盤の応急復旧に関する検討
- ・電力、石油・ガス等の燃料、要員・資機材等の諸資源の確保等に関する検討など



2. 平成26年度に取り組み

- ・4つの課題に対して9の部会で対応を検討しており、その成果を「中間とりまとめ」として公表予定。
- ・各部会の検討内容について、防災訓練等により課題を抽出・検証し、より実効性の高い計画としていく。



- ・中間とりまとめ公表
- ・防災訓練等による検討内容の継続的なフォローアップ

南海トラフ巨大地震対策の推進

1. 概要

南海トラフ巨大地震(M9クラス)により関東地方から九州地方の太平洋沿岸を中心に広範囲に甚大な被害が発生し、沖縄県でも津波による被害が発生するおそれがあると内閣府が想定。

南海トラフ巨大地震による沖縄県の危機に備えるべく、(沖縄総合事務局・大阪航空局那覇空港事務所・国土地理院沖縄支所・沖縄気象台・第十一管区海上保安本部)の5機関が、沖縄版南海トラフ巨大地震地域対策計画を平成26年3月に策定した。

当計画は、広域的見地や現地の現実感を重視しながら、沖縄県が設置する災害対策本部と連携し総力を挙げて取り組むべき内容を盛り込んでいる。

・全国で共通して取り組むテーマについて沖縄地域としての対策を検討

●テーマ

短時間で押し寄せる津波から避難を全力で支える



●対策

◎持ちうる全ての手段で、避難の遅れによる死者ゼロを目指す

- ◆地方公共団体による避難路整備、津波ハザードマップ作成等を支援
- ◆道の駅等を復旧活動の拠点として防災機能強化を推進

広範囲の被害に対しても、被災地の情報を迅速・正確に収集・共有し、応急活動や避難につなげる。



◎沖縄総合事務局等の機能を最大限に発揮し情報収集と共有

- ◆ヘリコプターやCCTVによる緊急調査を実施し、迅速な被災状況把握と、関係機関との情報共有
- ◆電子防災情報システムの構築

点在する被災地に対して、総合啓開により全力を挙げて進出ルートを確認し、救急活動を進める。



◎陸海空あらゆる方面からのルート啓開「総合啓開」を行う。

- ◆「直轄国道の啓開・復旧の在り方検討部会」での方針に基づき対応
- ◆港湾管理者と災害時の覚書を締結することにより、啓開体制の構築

民間事業者等も総動員し、被災者・避難者や被災した自治体を全力で支援する。



◎被災地の情報収集等を行うリエゾンの迅速な派遣

- ◆リエゾン派遣計画の検討
- ◆沖縄防災連絡会(災害時の支援物資物流に関する検討部会)との連携強化
- ◆所管施設の総合啓開、応急復旧を実施

事前の備えも含めて被害の長期化を防ぎ、1日も早い生活・経済の復興につなげる。



◎致命的な被害を受けない備え、被害の長期化を解消

- ◆那覇港、中城湾港について耐津波性能の検討及び啓開体制の構築
- ◆津波防災地域づくりの支援

2. 平成26年度の取り組み

- ・ヘリコプターやCCTVによる緊急調査計画について、課題を抽出して実効性の高いものにしていく。
- ・電子防災情報の共有について、訓練を通して各機関の連携強化を図る。

沖縄総合事務局防災ヘリによる緊急調査計画



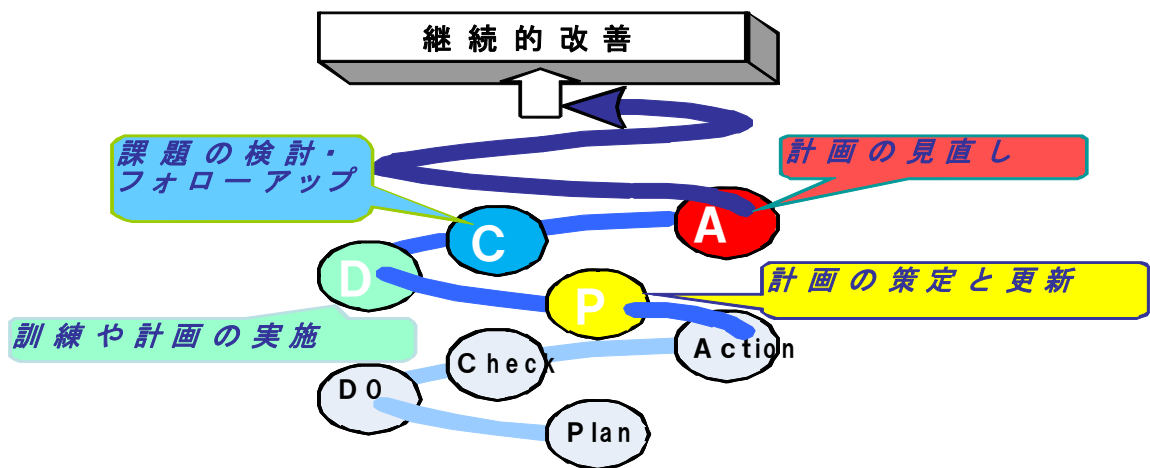
沖縄総合事務局開発建設部防災訓練の実施

1. 概要

沖縄総合事務局開発建設部では、職員の災害対応能力の向上を図ることを目的に、毎年定期的に防災訓練を実施している。訓練の実施にあたっては、開発建設部職員のみによる訓練や、沖総局の他の部局、及び関係機関（沖縄県、海上保安庁、自衛隊、消防など）との合同訓練を実施し連携の強化を図っている。

また、各事象ごと（風水害、地震・津波、水質事故災害など）に被災状況を想定し訓練の具体的な取り込みを行っている。

- ・年度当初に年間の防災訓練計画を策定。
- ・策定計画に基づき、開発建設部内及び局内、関係機関と訓練内容の読み合わせを実施。
- ・読み合わせた策定計画に沿って訓練を実施。
- ・訓練終了後、反省点や改善点などを検証し、次回の訓練に意見を反映させPDCAサイクルを実施。



2. 平成26年度防災訓練の取組

年間の防災訓練計画についてより体系的・実践的なものにするとともに、防災連絡会や沖縄版南海トラフ巨大地震地域対策計画を踏まえ、各関係機関と連携した防災訓練を実施。

<訓練の実施内容>

- ①北部ダム統合管理事務所：地震対応訓練（4月23日実施済み）
- ②石垣港湾事務所：石垣市主催の津波一時避難ビル避難訓練へ参加（4月24日実施済み）
- ③北部ダム統合管理事務所：洪水対応演習（5月19日実施済み）
- ④沖縄総合事務局：風水害対策訓練（6月予定）
- ⑤陸上自衛隊主催の美ら島レスキュー2014への参加（7月予定）
- ⑥沖縄総合事務局：地震、津波対策訓練（9月予定）
- ⑦沖縄県主催の県総合防災訓練への参加（9月予定）など

災害協定の推進

1. 概要

沖縄総合事務局では、地震、津波及び風水害等の異常な自然現象及び予期できない災害等に備え、迅速且つ的確な災害対応が行えるよう、関係各機関等と災害協定の推進を行っている。

1-1『災害時における応急対策等に関する協定』

当局所管施設において、自然災害による災害が発生し、または発生するおそれがある場合の対応について、地方公共団体及び関係団体等との連携を一段と強化し、迅速な対応の一層の向上を図るため、災害協定の締結に取り組んでいる。

協定締結状況

- ・地方公共団体及び関係団体等との協定締結は23件

協定締結内容

- ・発災地へ技術者および作業員の派遣
- ・資機材の調達および現地への派遣
- ・相互の情報共有化など

1-2『災害時の情報交換及び応援に関する協定(リエゾン協定)』

市町村の公共土木施設等においても、自然災害による災害が発生し、または発生するおそれがある場合に、迅速且つ的確な災害対策を実施することができるよう、日頃から相互の信頼関係を構築する目的でリエゾン協定を行っている。

協定締結状況

- ・市町村とのリエゾン協定締結は3件(大宜味村、国頭村、東村)

活動内容

- ・市町村の災害対策本部へリエゾン(情報連絡員)派遣し情報交換を行う
- ・災害状況を勘案し、沖総局が保有する災害対策用資機材(防災ヘリコプター、衛星通信機器、災害対策本部車、照明車、排水ポンプ車など)を派遣
- ・平時において、共同での防災訓練を行い、災害対応時の迅速な実施に資する

※リエゾンとは:Liaison、「つなぐ」という意味のフランス語。災害時の情報交換に関する協定においては、自治体に派遣される職員を指す。

2. 平成26年度協定締結の取組み

- ①災害時に有益な関係団体を洗い出して順次、締結団体を拡大していく。
- ②県内の全市町村とのリエゾン協定締結を目標として順次、締結市町村を拡大していく。

⑦防災

区分	事業名	H25年度の成果等	H26年度の成果目標等	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31以降	備考
防災	沖縄防災連絡会	○第3回 沖縄防災連絡会開催(H25. 7) ・部会検討に関する経過報告 ・今後の活動に関する確認・審議	・中間取りまとめを策定する。 ・防災訓練等により課題を抽出・検証し、より実効性の高い計画とする。								
	南海トラフ巨大地震対策の推進	・沖縄版地域対策計画策定(H26. 3)	・緊急調査計画、情報収集・集約等の計画の具体化を進める。								
	沖総局の災害対応の強化	・洪水情報伝達演習(H25. 5) ・土砂災害全国統一防災訓練(H25. 6) ・沖総局防災訓練(風水害)(H25. 6) ・沖総局防災訓練(地震・津波)(H25. 10) ・非常参集訓練(H26. 3)	・防災連絡会や南海トラフ巨大地震地域対策を踏まえた防災訓練を行う。								
	災害協定の推進	・関係団体との災害時応急対策等に関する協定締結(23件) ・市町村とのリエゾン協定締結(3件：大宜味村・国頭村・東村)	・災害時に有益な関係団体を洗い出して順次、締結団体を拡大していく。 ・県内の全市町村とのリエゾン協定締結を目標として順次、締結市町村を拡大していく。								

不発弾等対策

1. 概 要

沖縄県は、第二次世界大戦において激しい艦砲射撃、砲爆撃を受け、地上戦闘の場となったため、戦後68年を経過した今日でも、不発弾等の発見件数は依然として高い水準にある。

昭和49年3月に那覇市小禄で発生した爆発事故を機に、地域住民の生活の安全に資するため、沖縄総合事務局、陸上自衛隊、沖縄県、警察等県内16機関から構成される沖縄不発弾等対策協議会（以下「協議会」という）を発足し、磁気探査研修の実施、磁気探査機器の技術調査及び不発弾等を現地において安全化処理する際のライナープレートの貸出し等を行っている。なお、協議会事務局は沖縄総合事務局が担当している。

また、これまでの不発弾の処理スキームに収まらない事案が発生したことを受け、平成24年度より協議会において、不発弾が爆発した際の周辺への影響、工事振動が不発弾に与える影響について検討を行っている。



【磁気探査研修(実地)】



【ライナープレートの貸付】

2. 平成26年度の取り組み

○磁気探査研修の実施、磁気探査機器の技術調査及びライナープレートの貸出し等を行う。

○「不発弾の処理時等における安全化対策等の検討結果報告書」により、以下の2点を取りまとめる。

- ・ 不発弾が爆発した際の周辺への影響についての検討
 - 避難区域内に避難困難者がいた際の対策
- ・ 工事振動が不発弾に与える影響についての検討
 - 代表的な建設機械の振動限度(参考値)

沖縄総合事務局開発建設部 地域支援窓口

1. 概要

沖縄総合事務局開発建設部には、7つの事務所があり、地域に密着した社会資本整備や維持管理を行っています。地域に密着した組織として、沖縄の振興・発展に寄与したいと考えていますので、今後も市町村運営の中で、困ったことなどご質問、ご意見、ご相談等を受け付けております。

2. 地域支援窓口

市町村名	事務所	副所長等	市町村名	事務所	副所長等	市町村名	事務所	副所長等
那覇市	南部国道	副所長	大宜味村	ダム統管	副所長	西原町	南部国道	副所長
	那覇港湾・空港	副所長		北部国道	副所長	与那原町	南部国道	副所長
宜野湾市	南部国道	副所長	東村	ダム統管	副所長	南風原町	南部国道	副所長
石垣市	石垣港湾	工務課長	今帰仁村	記念公園	工務課長	渡嘉敷村	建設行政課	景観環境事業調整官
浦添市	南部国道	副所長	本部町	記念公園	工務課長	座間味村	建設行政課	景観環境事業調整官
名護市	北部国道	副所長	恩納村	北部国道	副所長	粟国村	建設行政課	景観環境事業調整官
	ダム統管	副所長	宜野座村	ダム統管	副所長	渡名喜村	建設行政課	景観環境事業調整官
糸満市	南部国道	副所長		北部国道	副所長	南大東村	建設行政課	景観環境事業調整官
沖縄市	南部国道	副所長	金武町	ダム統管	副所長	北大東村	建設行政課	景観環境事業調整官
豊見城市	南部国道	副所長		北部国道	副所長	伊平屋村	建設行政課	景観環境事業調整官
うるま市	北部国道	副所長	伊江村	建設行政課	景観環境事業調整官	伊是名村	建設行政課	景観環境事業調整官
宮古島市	平良港湾	工務課長	読谷村	南部国道	副所長	久米島町	建設行政課	景観環境事業調整官
南城市	南部国道	副所長	嘉手納町	南部国道	副所長	八重瀬町	南部国道	副所長
国頭村	ダム統管	副所長	北谷町	南部国道	副所長	多良間村	建設行政課	景観環境事業調整官
	北部国道	副所長	北中城村	南部国道	副所長	竹富町	建設行政課	景観環境事業調整官
			中城村	南部国道	副所長	与那国町	建設行政課	景観環境事業調整官

主担当事務所を一覧にしたものであり、日頃お付き合いのある事務所にご連絡していただいても結構です。

■：北部市町村会、■：中部市町村会、■：南部市町村会

【連絡先一覧】

事務所（局）	TEL	事務所（局）	TEL
北部ダム統合管理事務所	0980-53-2442	平良港湾事務所	0980-72-4673
北部国道事務所	0980-52-4350	石垣港湾事務所	0980-82-4740
南部国道事務所	098-861-2336	国営沖縄記念公園事務所	0980-48-3140
那覇港湾・空港整備事務所	098-867-3710	建設行政課	098-866-1908

3. 各種相談窓口

- 海とみなとの相談窓口
海やみなとに関する地域からの相談
全国共通フリーダイヤル
0120-497-370
- 公共建築相談窓口
沖縄県内の国家機関、地方公共団体、建設業に携わる方並びに一般の方を対象に、官庁営繕に関する様々な相談
沖縄総合事務局 開発建設部 営繕課
098-866-0031
- 災害情報普及支援窓口
防災情報の収集・予測・発信等に関わる技術的支援及び助言、防災対策に関わる啓発活動
沖縄総合事務局 開発建設部 防災課
098-866-1903
- 道路施設の諸課題に対する相談・支援窓口
地方自治体が管理する道路施設（橋梁・トンネル・舗装・附属物・法面等）の諸課題に対する相談・支援
沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課
098-866-1914
- 河川砂防保全技術支援チーム相談窓口
河川、ダム、砂防、海岸分野における技術的課題等に関する相談窓口
沖縄総合事務局 開発建設部 低潮線保全官
098-861-9927

沖縄総合事務局開発建設部コンプライアンスの推進

1. 概要

沖縄総合事務局開発建設部は、沖縄振興行政を担う一員として、沖縄県内における道路、河川、港湾、空港、公園及び官庁営繕等の社会資本整備を推進する国の行政機関としての社会的使命を達成するため、組織全体でコンプライアンスの徹底に取り組んでいる。

- ・毎年度当初に年度毎のコンプライアンス推進計画を策定。
- ・推進計画は、外部有識者で構成する「開発建設部コンプライアンス・アドバイザリー委員会」による意見及び提言を反映。
- ・推進計画に沿って取組を実施。
- ・年度末に「アドバイザリー委員会」にて意見を頂き、当該年度の推進計画の総括を行い、次年度の推進計画に反映させる。

2. 平成26年度コンプライアンス推進の取組

平成26年度沖縄総合事務局開発建設部コンプライアンス推進計画を策定し、推進計画に沿って具体的な取り組みを行っている。

<取組内容>

- ①職員の意識改革に向けた取組
 - ・研修における充実化、コンプライアンスミーティングの開催など
- ②入札契約のプロセスの見直し及び情報管理の徹底等
 - ・入札書と技術提案書の同時提出の試行
 - ・各種委員会における情報の管理、業者名のマスキングなど
- ③事務所毎の応札状況の透明化・情報公開の強化
 - ・HPでの公表(1ヶ月毎)
- ④事業者等との適切な関係の確保
 - ・事業者等への推進計画の取組状況の周知など
- ⑤内部監査の充実

沖縄総合事務局開発建設部コンプライアンス宣言

平成26年2月3日

沖縄総合事務局開発建設部コンプライアンス推進本部長

沖縄総合事務局次長 尾澤卓思

沖縄総合事務局開発建設部は、沖縄振興行政を担う一員として、沖縄県内における道路、河川、港湾、空港、公園及び官庁営繕等の社会資本整備を推進する国の行政機関としての社会的使命を達成するため、組織全体でコンプライアンスの徹底に取り組めます。

- 一 沖縄総合事務局開発建設部は、職務を遂行するに当たって、法令を厳正に遵守し、国民全体の奉仕者であることを強く自覚して、公正・公平で透明性の高い職務の遂行に努めて参ります。
- 一 沖縄総合事務局開発建設部は、入札契約制度に対する社会的な要請に応え、公正かつ厳正に職務を遂行し、事業者等からの不当な働きかけや、組織内の不正行為については、組織全体で厳正に対応します。
- 一 沖縄総合事務局開発建設部は、コンプライアンスの推進及びそのための内部統制の強化を図るため、年度ごとに「沖縄総合事務局開発建設部コンプライアンス推進計画」を策定し、継続してコンプライアンスの取組を推進して参ります。

以上、沖縄総合事務局開発建設部は、コンプライアンスを全ての行動の基本とすることを宣言いたします。

⑧その他

区分	事業名	H25年度の成果等	H26年度の成果目標等	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31以降	備考
その他	不発弾等対策	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄不発弾等対策協議会開催 ・平成25年度磁気探査研修実施(7月：那覇市、9月：名護市、11月：石垣市、1月：那覇市) ・沖縄不発弾等対策協議会専門部会ワーキングチーム開催(8/30、11/27、3/18) ・ライナープレート貸出し(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄不発弾等対策協議会専門部会(ワーキングチーム)検討結果報告) ・沖縄不発弾等対策協議会分科会 ・沖縄不発弾等対策協議会 ・磁気探査研修(那覇・名護・宮古・那覇) ・ライナープレート貸出し 								<ul style="list-style-type: none"> ●沖縄不発弾等対策協議会 ・磁気探査および発掘実施計画の策定 ・不発弾等埋没状況の把握 ・不発弾等と爆発被害状況の把握 ・不発弾等の危険除去に関するPR
	沖縄総合事務局開発建設部 地域支援 窓口	<ul style="list-style-type: none"> ・「新たな制度」等の情報提供 ・災害時及び防災に関する支援 ・社会資本の点検技術向上に関する支援等 	<ul style="list-style-type: none"> ・「新たな制度」等の情報提供 ・災害時及び防災に関する支援 ・社会資本の点検技術向上に関する支援等 								<ul style="list-style-type: none"> ●その他相談窓口 ・災害情報普及支援 ・道路施設の諸課題に対する相談・支援 ・河川砂防保全技術支援チーム ・海とみなとの相談 ・公共建築相談窓口
	沖縄総合事務局開発建設部コンプライアンス	<p>平成25年度沖縄総合事務局開発建設部コンプライアンス推進計画を策定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回コンプライアンスアドバイザー委員会開催 ・コンプライアンス情報の提供(随時) ・コンプライアンスミーティングの実施 ・第2回コンプライアンスアドバイザー委員会開催 	<p>平成26年度沖縄総合事務局開発建設部コンプライアンス推進計画を策定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスアドバイザー委員会開催 ・コンプライアンス情報の提供(随時) ・コンプライアンスミーティングの実施 								<p>毎年度、コンプライアンス推進計画を策定し、推進計画に沿った取組を実施。</p>